

MEDIAEDGE

H.264 対応録画・配信装置

LEB-Recorder2

取扱説明書

2019 年 7 月 5 日

第 1.3 版

Copyright (C) 2019 MEDIAEDGE Corporation

改訂履歴

版	FirmWare	年月日	改訂内容
1.0	2.0.500	2018/08/15	初版（FirmWareVer2）
1.1	2.0.603	2018/12/13	WEB 設定画面の更新、フロントパネルによる設定追加、メンテナンスモード追加
1.2	2.1.0	2019/03/30	一部（システム管理やコントロール）の WEB 設定画面のデザイン変更による張替え
1.3	2.2.0	2019/07/05	機能追加や制限事項の追加のため修正

目次

I. はじめに.....	1
I-1. 本製品を使用される際の注意事項	2
■ 注意事項.....	3
■ 個人情報の取扱いについて	3
■ 商標について.....	3
■ 警告	4
I-2. ご使用前に.....	5
■ パッケージ内容の確認.....	5
■ 当社ホームページについて	5
■ ファームウェアのバージョンについて	5
I-3. 留意事項.....	6
■ 表記について.....	6
■ ご注意	6
■ 制限事項	6
■ 利用許諾について	6
II. MEDIAEDGE LEB Recorder2 について	7
II-1. 概要と特長.....	8
■ II-1-1. LEB Recorder2 の概要.....	8
■ II-1-2. LEB Recorder2 の主な機能.....	9
II-2. MEDIAEDGE LEB Recorder2 の各部の名称と機能	10
■ II-2-1. MEDIAEDGE LEB Recorder2 前面部.....	10
■ II-2-2. MEDIAEDGE LEB Recorder2 背面部.....	12
II-3. 機器の接続.....	13
■ II-3-1. 接続	13
■ II-3-2. MEDIAEDGE Recorder2 で IPv4 アドレスを使う場合	14
■ II-3-3. MEDIAEDGE Recorder2 で IPv6 アドレスを使う場合	15
■ II-3-4. Web コンソールで設定する場合.....	16
II-4. 起動・終了.....	18
■ II-4-1. 起動	18
■ II-4-2. 終了(スタンバイ)	18
II-5. 使用方法.....	19
■ II-5-1. 録画	19
■ II-5-1. 配信	20
■ II-5-2. アップロード	21
II-6. フロントパネルによる設定	22
■ II-6-1. 配信モードの設定 (DISTRIBUTION)	24
■ II-6-2. ビデオ入力の設定 (VIDEO)	25

■ II-6-1. ネットワークの設定 (NETWORK)	25
■ II-6-2. システム (SYSTEM)	27
■ II-6-1. 情報表示 (INFORMATION)	28
■ II-6-1. シャットダウン (SHUTDOWN)	29
II-7. WEB コンソールによる設定	30
■ II-7-1. 準備	30
■ II-7-2. 設定・操作メニュー	30
■ II-7-3. メニューの全体構成	31
■ II-7-4. 上部メニュー	31
■ II-7-5. 状態表示	32
1、ダッシュボード	32
3、シリアルログ	33
4、動作ログ	33
5、録画ログ	34
6、アップロードログの表示画面	34
■ II-7-6. 設定	35
1、システム	35
2、ネットワーク	36
3、シリアル	38
4、配信	39
5、ビデオ	42
6、録画	45
■ II-7-7. システム管理	49
1、再起動/シャットダウン	49
2、工場出荷の設定に戻る	50
3、ファームウェア更新	50
4、設定とログのエクスポート	51
5、ユーザー/パスワード	51
6、オープンソースソフトウェア一覧	53
■ II-7-8. コントロール	54
1、録画コントロール	54
2、アップロード	55
3、ディスクの初期化	56
II-8. ファームウェアのアップデート	57
■ II-8-1. アップデート方法	57
II-9. メンテナンスモード	58
II-10. サポート情報	64
■ II-10-1. 制限事項	64
■ II-10-1. HDD の交換時期について、	65

II-11. 仕様	66
■ II-11-1. ハードウェア仕様.....	66
■ II-11-2. サイズと設置に必要な領域	69
■ II-11-3. コネクタピン配列	70
III. Appendix	71
■ III-1-1. Windows10 Pro の IIS で FTP サーバーをセットアップする方法	71

I. はじめに

この章では、LEB Recorder2 のご使用やセットアップの前に確認していただきたい事項や、ご注意いただきたい事項について説明します。

I-1. 本製品を使用される際の注意事項

ここでは、本製品を使用されるときにご注意いただきたい事柄について説明しています。ご使用方法や、この内容について不明な点、疑問点などがございましたら、メディアエッジ株式会社 カスタマーサポートまでお問い合わせください。

メディアエッジ株式会社

カスタマーサポート

TEL: 078-265-1552

FAX: 078-265-1550

(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00

※土日祝および当社指定休日を除く)

⊘ 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。コードの上に重いものをのせたり、熱器具に近づけたりしないでください。また、コードを折り曲げたり、加工したりしないでください。AC アダプターを抜くときは、プラグ部分を持ってください。コードが傷んだら、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまで交換をご依頼ください。

⊘ 分解しない

ケースを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はお買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご依頼ください。

⊘ ほこりや湿気の多い場所で使用しない

ショートや発熱が起こり、火災や感電の原因となります。

⊘ 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、本体の電

源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⊘ 雷が鳴り出したら使わない

本体や、プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⊘ ぬれた手で AC アダプターを触らない

ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

⊘ 直射日光の当たる場所に置かない

日光の当たる場所や熱器具のそばに置かないでください。火災や製品の故障の原因となります。

⊘ 煙が出た状態で使用しない

煙が出る、異臭がするなどの異常状態で使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

異常が発生したら、本体の電源を切り、電源プラグを抜いて、煙が消えたのを確認してから、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⊘ 製品が破損した状態で使用しない

本製品を落としたり、カバーを破損した状態のまま使用したりしないでください。火災や製品の故障の原因となります。製品が破損した場合は、本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店もしくは、当社カスタマーサポートまでご連絡ください。

⚠ 不安定な場所に置かない

不安定な台の上や傾いたところに置かないでください。落下するおそれがあり、けがをしたり、製品の故障の原因となります。

電源コードや AV ケーブルは整理して配置してください。足にひっかけると、けがや製品の故障の原因となります。

⚠ お手入れの際は電源を切る

接続するときやお手入れの際は、電源コードを抜いてください。感電や製品の故障の原因となります。お手入れの際は、シンナーなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。

⚠ 付属の AC アダプター以外は使用しない

付属の AC アダプター以外の製品を使用しないでください。火災や製品の故障の原因となります。

⚠ 本体を布などで覆わない

風通しの悪い場所や布などで覆った状態で使用しないでください。通風孔がふさがれると内部に熱がこもって、火災や製品の故障の原因となります。

■ 注意事項

ご使用上の過失の有無を問わず、本製品の運用において発生した逸失利益を含む特別、付随的、または派生的損害に対するいかなる請求があったとしても、当社はその責任を負わないものとします。

製品本来の使用目的及び、当社が推奨する使用環境以外での本製品の動作保証は、一切いたしかねます。

■ 個人情報の取扱について

当社では、お客様の個人情報は原則として下記の目的以外では使用いたしません。

- ご利用の当社製品のサポートの実施
当社製品の使用状況調査、製品改良、製品開発、サービス向上を目的としたアンケートの実施。

※ 調査結果につきましては、お客様の個人情報を含まない形で当社のビジネスパートナーに参考資料として提供することがあります。

- 銀行口座やクレジットカードの正当性、有効性の確認。
- ソフトウェアのバージョンアップや新製品の案内等の情報提供。
- 懸賞企画等で当選されたお客様への賞品の発送。

事前にお客様のご了承を得た上で、上記以外の目的で使用させていただく場合があります。

当社ではご記入いただいた情報を適切に管理し、特段の事情がない限りお客様の承諾なく第三者に開示・提供することはありません。

お客様の個人情報の取扱いに関するお問い合わせ、ご意見は <http://www.mediaedge.co.jp> までご連絡ください。

■ 商標について

- ① MEDIAEDGE は、メディアエッジ株式会社の登録商標です。
- ② HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- ③ Manufactured under license from Dolby Laboratories.
- ④ Dolby and the double-D symbol are trademarks of Dolby Laboratories.
- ⑤ Microsoft、Windows は米国マイクロソフト

ト・コーポレーションの登録商標です。

- ⑥ その他の商品名やそれに類するものは各社の商標または登録商標です。

■ 警告

■ 健康上のご注意

ごくまれに、コンピュータのモニターおよびテレビ画面に表示される強い光の刺激や点滅によって、一時的にてんかん・意識の喪失などが引き起こされる場合があります。こうした経験をこれまでになされたことがない方でも、それが起こる体質をもっていることも考えられます。こうした経験

LEB Recorder2 取扱説明書

をお持ちの方や、経験をお持ちの方の血縁にあたる方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。

■ 著作権について

テレビ放送やビデオなど、他人の作成した映像/音声をキャプチャしたデータは、動画、静止画に関わらず個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、個人として楽しむ目的であっても複製が制限されている場合があります。キャプチャしたデータのご利用に対する責任は当社では一切負いかねますのでご注意ください。

I-2. ご使用前に

■ パッケージ内容の確認

MEDIAEDGE LEB Recorder2 のパッケージの中に以下の付属品が入っていることを確認してください。

製品の梱包には万全を期しておりますが、万一不足しているものがありましたら、ご購入いただきました販売店もしくは下記カスタマーサポートまでご連絡ください。

メディアエッジ株式会社

カスタマーサポート

TEL: 078-265-1552

FAX: 078-265-1550

Mail: support@mediaedge.co.jp

(月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00 ※当社指定休日を除く)

MEDIAEDGE LEB Recorder2 同梱物

- LEB Recorder2 本体 × 1
- AC アダプター × 1
- 簡易説明書 × 1
- お客様情報登録案内 × 1
- 同梱物一覧シート × 1

■ 当社ホームページについて

LEB Recorder2 を始めとする当社の最新情報をホームページ(<http://www.mediaedge.co.jp>)にて発信しています。最新のドライバー、ユーティリティ、製品マニュアル、FAQ などを公開していますので、当社ホームページに是非アクセスいただきご活用ください。

■ ファームウェアのバージョンについて

本書では LEB Recorder2 のファームウェアバージョン 2.2.x での操作方法を説明しています。

I-3. 留意事項

■ 表記について

- 本書の説明と実際の運用方法とで相違点がある場合には、実際の運用方法を優先するものとします。
- 説明の便宜上、実際の製品とイラストおよび画面写真が異なる場合があります。

■ ご注意

- 本製品の内容や仕様は将来予告無しに変更することがあります。
- 本製品は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れなどお気付きの点がございましたら、当社までご連絡ください。
- 本製品付属のソフトウェア、ハードウェア、マニュアル、その他添付物を含めたすべての関連製品に関して、解析、リバースエンジニアリング、デコンパイル、ディスアセンブリを禁じます。

■ 制限事項

現行ファームウェアでの制限事項を示します。

■ 利用許諾について

本製品は、搭載するソフトウェアの一部に GNU 一般公衆利用許諾 (GNU General Public License、以下「GPL」と呼ぶ) または GNU 劣等一般公衆利用許諾 (GNU Lesser General Public License、以下「LGPL」と呼ぶ) に該当するフリーソフトウェアを利用しています。 GPL/LGPL 該当のソフトウェアのリスト、ソースコードの請求、および本件に関する質問は当社カスタマーサポートまでお問い合わせください。

II. MEDIAEDGE LEB Recorder2 について

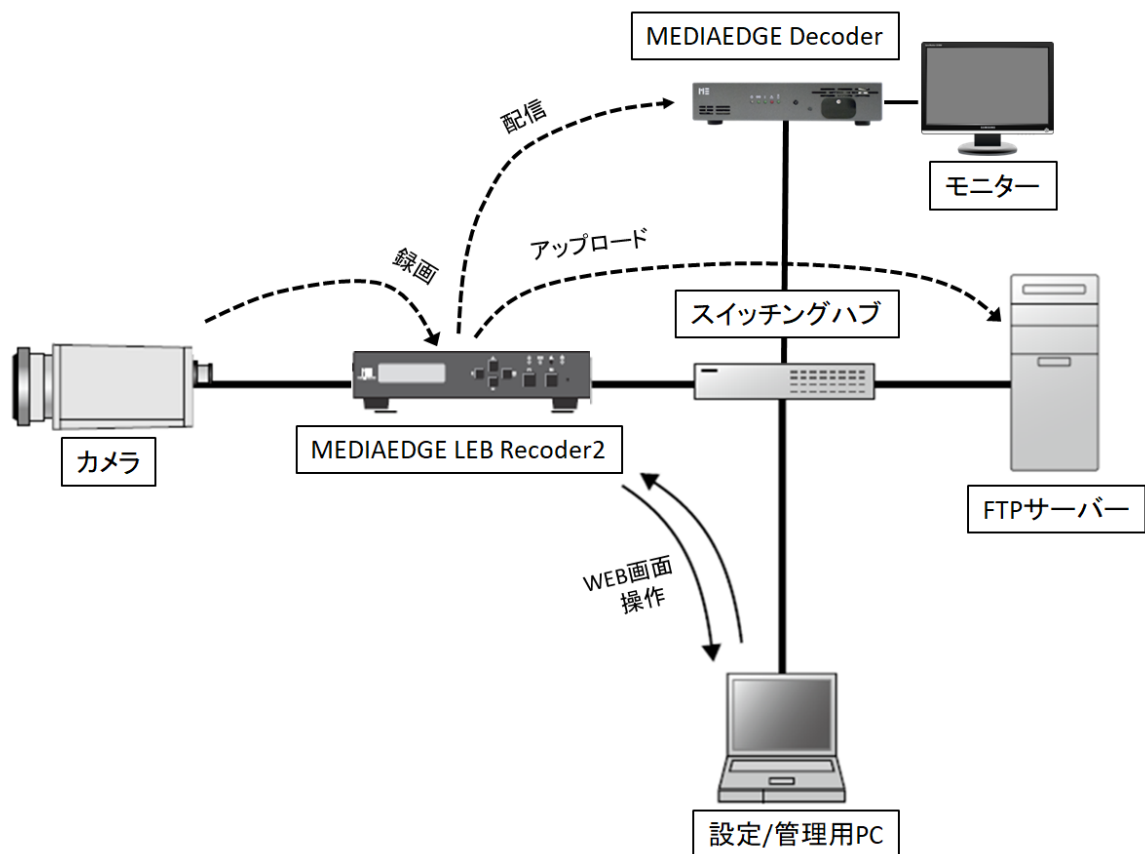
この章では、LEB Recorder2 の概要や各部の機能について説明します。

II-1. 概要と特長

■ II-1-1. LEB Recorder2 の概要

本製品はカメラ/デッキなどから入力した映像データを H.264 フォーマットへ圧縮して内蔵ストレージに録画しながら、同時にストリーム配信又は FTP サーバーへのアップロードが可能な録画装置です。Web ブラウザより録画および FTP サーバーへのアップロードの手動制御が行えます。

録画時に内蔵ストレージに空き容量がなくなると、自動的に古い録画ファイルを削除しながら録画を続けるループ録画にも対応しています。

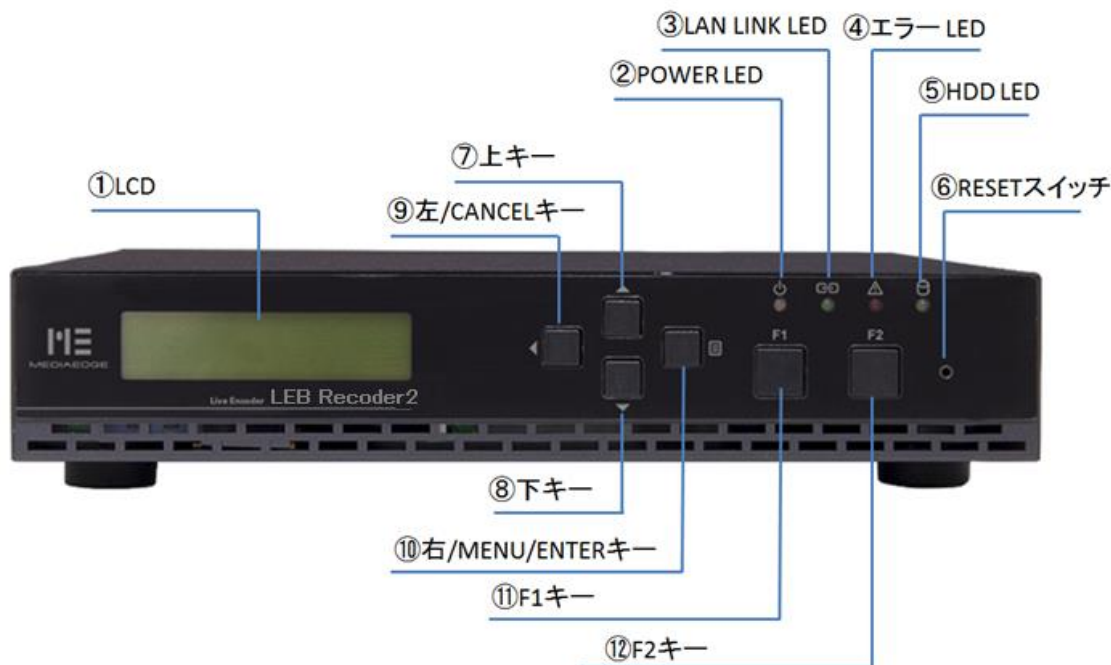



■ II-1-2. LEB Recorder2 の主な機能

- 録画
HD-SDI 端子(SD-SDI 兼用)、HDMI 端子、コンポジット端子より入力された映像をリアルタイムに H.264 フォーマットへエンコードし、内蔵ストレージに録画を行うことが可能です。
録画ファイルは指定したファイルサイズまたは時間ごとに分割して保存するか、あるいは指定したファイルサイズまたは時間でループ録画を指定できます。
- 配信
HD-SDI 端子(SD-SDI 兼用)、HDMI 端子、コンポジット端子より入力された映像をリアルタイムに H.264 フォーマットへエンコードし、指定先へストリーミング配信を行うことが可能です。
- FTP サーバーへの転送
分割した録画ファイルを 1 つのファイルに結合しながら、あらかじめ設定された FTP サーバーへ転送を行います。
- 操作
録画の開始/終了および FTP サーバーへのアップロード開始/中断は Web ブラウザより操作することが可能です。
- Web サーバー機能
Web ブラウザから機器の設定、状態監視、ファームウェア更新を行うことができます。
- メンテナンスモード
ファームウェアクラッシュなどのトラブルから復旧させるための動作モードです。
- WOL
WOL(Wake on LAN)に対応。スタンバイ状態からネットワーク経由で本装置を起動することができます。
- OSD
入力映像に日付、時刻、タイトルなどを重ねて表示することができます。

II-2. MEDIAEDGE LEB Recorder2 の各部の名称と機能

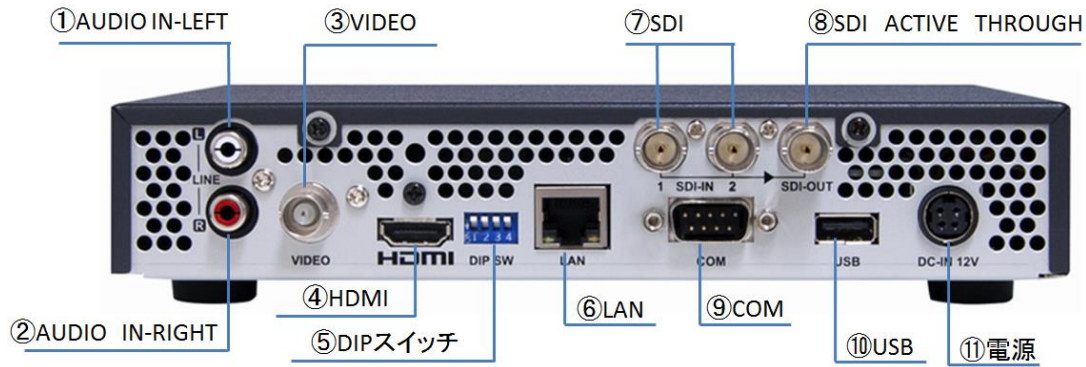
■ II-2-1. MEDIAEDGE LEB Recorder2 前面部



① LCD	現在のステータス、設定メニューを表示します。
② POWER LED	MEDIAEDGE LEB Recorder2 動作時に点灯します。 消灯:電源が入っていません。 橙色点灯:スタンバイ状態です。 橙色点滅:ファームウェアを更新中です。 緑色点灯:動作中です。 緑色点滅(0.5 秒毎)起動中/終了中です。 緑色点滅(2 秒毎)メンテナンスモードが起動しています。
③ LAN LINK LED	ネットワークの接続状態を表示します。 消灯:ネットワーク機器と接続されていません。 点灯:ネットワーク機器と接続中で、データを送受信していません。 点滅:ネットワーク機器と接続中で、データを送受信しています。
④ エラーLED	MEDIAEDGE LEB Recorder2 のエラー検出時に点灯します。 <div><p>エラーLED が点灯もしくは点滅している場合、システム管理者もしくは当社カスタマーサポートまでご連絡ください。</p></div>
⑤ HDD LED	内蔵 HDD の動作状態を表示します。

⑥ RESET スイッチ	緊急時のリセットに使用します。押してすぐに離すとリセットします。 3 秒以上押しつづけた場合は「メンテナンスモード」へ移行します。 通常は使用しないでください。
⑦ 上キー	設定メニュー操作時に上の項目へ移動します。
⑧ 下キー	設定メニュー操作時に下の項目へ移動します。
⑨ 左/CANCEL キー	設定メニュー操作時に1つ前の項目へ移動/キャンセルキーとして使用します。
⑩ 右/MENU/ENTER キー	設定メニューを表示/設定メニュー操作時に項目を選択/確定キーとして使用します。スタンバイ状態のときに、3 秒以上押し続けることで、MEDIAEDGE LEB Recorder2 が起動します。
⑪ F1 キー	録画開始します。
⑫ F2 キー	録画停止します。

■ II-2-2. MEDIAEDGE LEB Recorder2 背面部

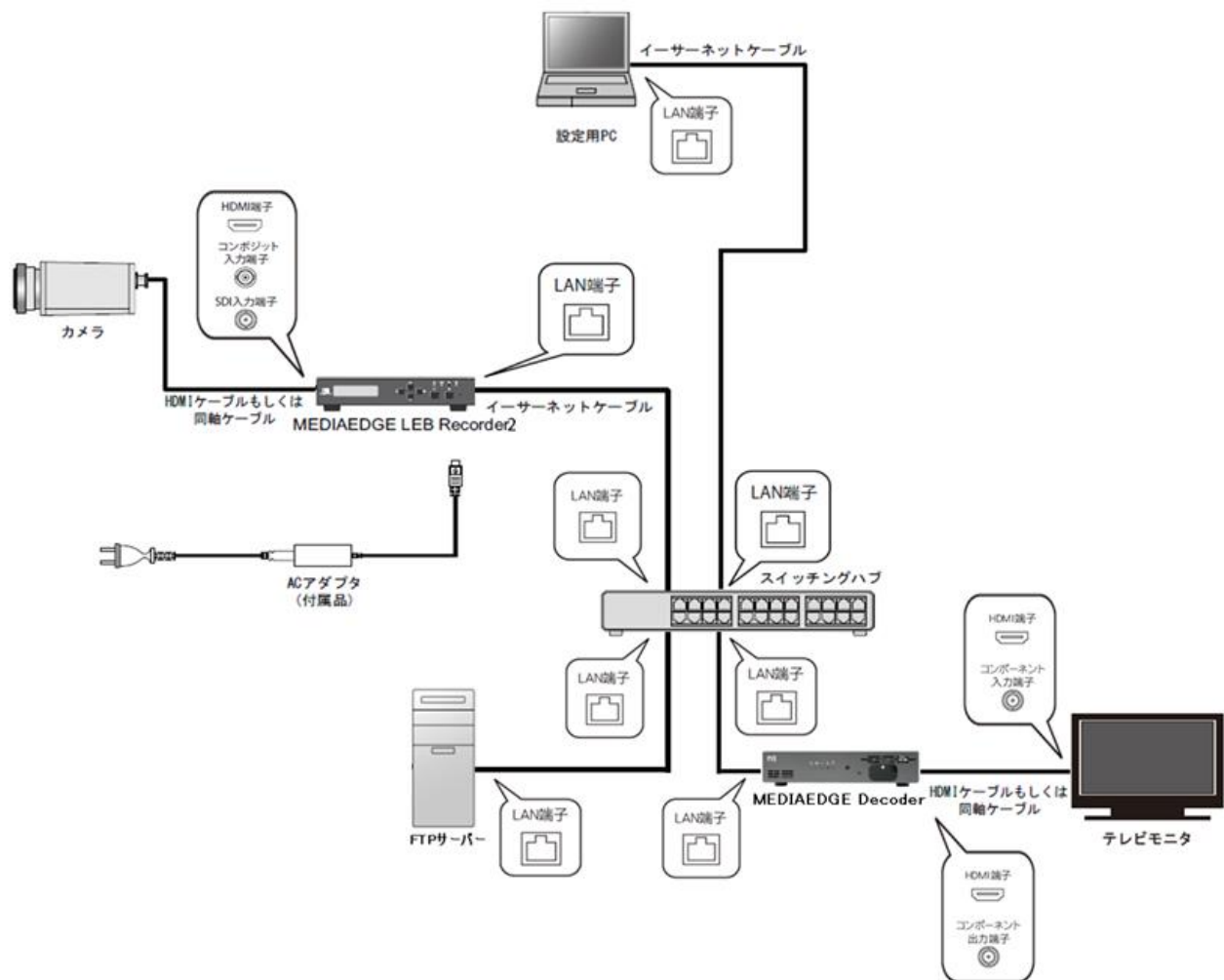


① AUDIO IN-LEFT	アナログオーディオ入力端子(左側)です。
② AUDIO IN-RIGHT	アナログオーディオ入力端子(右側)です。
③ VIDEO	コンポジット入力端子(BNC)です。
④ HDMI	HDMI 入力端子です。
⑤ DIP スイッチ	MEDIAEDGE LEB Recorder2 緊急時のみ使用します。 SW1: MEDIAEDGE LEB Recorder2 を工場出荷時の設定に戻す場合に使用します。 SW2: 使用しません。(常時 OFF で使用) SW3: 使用しません。(常時 OFF で使用) SW4: IP アドレスの設定にかかわらず、強制的に DHCP、AutoIP から取得します。 ※上が OFF、下が ON です。
⑥ LAN	Ethernet ケーブル端子です。
⑦ SDI	HD/SD-SDI 入力端子です。
⑧ SDI ACTIVE THROUGH	HD/SD-SDI アクティブスルー出力端子です。 選択された入力信号をそのまま同時出力します
⑨ COM	RS-232C (D-SUB 9ピン) 端子(ハードウェアフロー制御可能)です。
⑩ USB	USB デバイスを接続する端子です。
⑪ 電源	付属の AC アダプターを接続します。 ※付属の AC アダプター以外は絶対に使用しないでください。

II-3. 機器の接続

■ II-3-1. 接続

以下の接続例を参考に、MEDIAEDGE LEB Recorder2 と周辺機器を接続してください。



■ II-3-2. MEDIAEDGE Recorder2 で IPv4アドレスを使う場合

- 1、MEDIAEDGE LEB Recorder2に AC アダプターを接続してください。フロントパネルの LCD に起動中のメッセージが表示されます。

Boot System

- 2、起動が完了すると動作モードが表示されます。[右/MENU/ENTER]キー押して設定メニュー表示に切り替えます。

MENU
1. DISTRIBUTION

- 3、[下]キーを押して[NETWORK]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

NETWORK
1. IPv6

- 4、[下]キーを押して[IPv4]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

IPv4
[DHCP ⬆ ⬆]

- 5、[下]キー押して[Manual]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

IPv4
[Manual ⬆]

- 6、[IP address]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

Manual Setting
1. IP address

- 7、IP アドレスを設定してください。 左/CANCEL]、[右/MENU/ENTER]キーで桁数を、[上]、[下]キーで数字を変更します。12 桁目で[右/MENU/ENTER]キーを押して IP アドレスは設定完了です。

(例) 192.168.0.17

IP address
192.168.000.017

8、[下]キーを押して[Subnet mask]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

[左/CANCEL]、[右/MENU/ENTER]キーで桁数を[上]、[下]キーで数字を変更します。

12 桁目で[右/MENU/ENTER]キーを押してサブネットマスクは設定完了です。

(例)255.255.255.0

Subnet mask
255.255.255.0

9、[下]キーを押して[Gateway]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

[左/CANCEL]、[右/MENU/ENTER]キーで桁数を[上]、[下]キーで数字を変更します。

12 桁目で[右/MENU/ENTER]キーを押してデフォルトゲートウェイは設定完了です。

(例)0.0.0.0 ("0.0.0.0"は無指定と同様です)

Gateway
000.000.000.000

10、以下の画面が表示されるまで[左/CANCEL]キーを押してください。(通常、4回押すと表示されます。

Save config ?
[Yes ⬆]

11、[右/MENU/ENTER]キーを押すと設定が保存され、MEDIAEDGE LEB Recorder2 が再起動します。

Reboot...

■ II-3-3. MEDIAEDGE Recorder2 で IPv6 アドレスを使う場合

1、MEDIAEDGE LEB Recorder2に AC アダプターを接続してください。フロントパネルの LCD に起動中のメッセージが表示されます。

Boot System

2、起動が完了すると動作モードが表示されます。[右/MENU/ENTER]キー押して設定メニュー表示に切り替えます。

MENU
1. DISTRIBUTION

3、[下]キーを押して[NETWORK]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

NETWORK 1. IPv6

4、[IPv6]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

IPv6 [Disable ▲▼]

5、[下]キーを押して[Enable]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

ここで"Enable"を選択すると、DHCPv6 もしくはステートレスアドレス自動設定でアドレスが自動的に設定されます。。

IPv6 [Enable ▲▼]

6、以下の画面が表示されるまで[左/CANCEL]キーを押してください。

(通常、2回押すと表示されます。)

Save config ? [Yes ▲▼]

7、[右/MENU/ENTER]キーを押すと設定が保存され、MEDIAEDGE LEB Recorder2 が再起動します。

Reboot...

■ II-3-4. Web コンソールで設定する場合

1、MEDIAEDGE LEB Recorder2に AC アダプターを接続してください。フロントパネルの LCD に起動中のメッセージが表示されます。

Boot System

2、起動が完了すると動作モードが表示されます。[右/MENU/ENTER]キー押して設定メニュー表示に切り替えます。

MENU 1. DISTRIBUTION

3、[下]キーを押して[INFORMATION]を選び、[右/MENU/ENTER]キーを押してください。

4、[下]キーを押して[IPv4 address]を表示させます。

※IPv4 アドレスが”0.0.0.0”になっている場合は、先に「■ II -3-2 MEDIAEDGE LEB Recorder2 で IPv4 アドレスを使う場合」を参照し、IPv4 アドレスを設定してください。

IPv4 address 192.168.0.17

5、Web ブラウザーを起動し、アドレス欄に LCD に表示されている IP アドレスを入力してください。

例) http://192.168.0.17/

6、BASIC 認証ダイアログが表示されます。

[ユーザー名]と[パスワード]を設定し、[OK]をクリックします。

工場出荷時は

ユーザー名: admin

パスワード: 空白(ブランク)

で設定されています。

→Web コンソールが起動します。

7、画面左下の[Language]、[日本語]を順にクリックしてください。

8、Web コンソールの[設定]>[ローカル設定]>[ネットワーク]の項で[IPv6]もしくは[IPv4]の設定を行います。

※設定内容については「7-4 設定ーローカル設定」を参照してください。

9、[設定]ボタンをクリックします。

→MEDIAEDGE LEB Recorder2 が再起動します。

以上でネットワークの設定は完了です。

II-4. 起動・終了

■ II-4-1. 起動

MEDIAEDGE LEB Recorder2 を起動します。

- 1、本体に AC アダプターを接続すると自動的に起動します。
→MEDIAEDGE LEB Recorder2 本体の POWER LED が緑色点滅し、MEDIAEDGE LEB Recorder 2 が起動します。
- 2、MEDIAEDGE LEB Recorder2 が起動完了すると POWER LED が緑色点滅から緑色点灯へ移行します。

■ II-4-2. 終了(スタンバイ)

MEDIAEDGE LEB Recorder2 をスタンバイ状態にします。

- 1、Web コンソールの[システム管理]→[再起動・シャットダウン]の項で[シャットダウン]の[実行]ボタンをクリックしてください。
- 2、MEDIAEDGE LEB Recorder2 本体の POWER LED が緑色点滅し、MEDIAEDGE LEB Recorder2 がスタンバイ状態になります。
※スタンバイ状態では POWER LED が橙色点灯状態となります。



MEDIAEDGE LEB Recorder2 の電源プラグをコンセントから抜く場合は、必ず上記処理を行い、POWER LED が橙色点灯状態であることを確認してから行ってください。録画やアップロードを停止せずに電源を切るとファイルシステムが、壊れて録画ファイルを損失する恐れがあります。

II-5. 使用方法

■ II-5-1. 録画

映像データを録画します。

➤ 前面パネルから録画

前面パネルの F1 ボタンを押すと録画が開始されます。

前面パネルの F2 ボタンを押すと録画が終了します。



➤ WEB 操作画面から録画

- 1、[Mediaedge Finder]を起動して対応する Presentation URL をクリック、もしくは Web ブラウザを起動し、URL に Http://(LEB Recorder2 の IP アドレス)を入力して Web コンソールを開きます。
- 2、ユーザー認証ダイアログでユーザー名 : admin、パスワード : 空白 (ブランク) を入力します。
- 3、[Language]-[日本語]をクリックします。
- 4、[コントロール]→[録画コントロール]をクリックします。



- 5、[録画開始]ボタンをクリックします。

→ 録画状態が[started]に変わり、録画を開始します。

- 6、録画を停止する時は[録画停止]ボタンをクリックします。

■ II-5-1. 配信

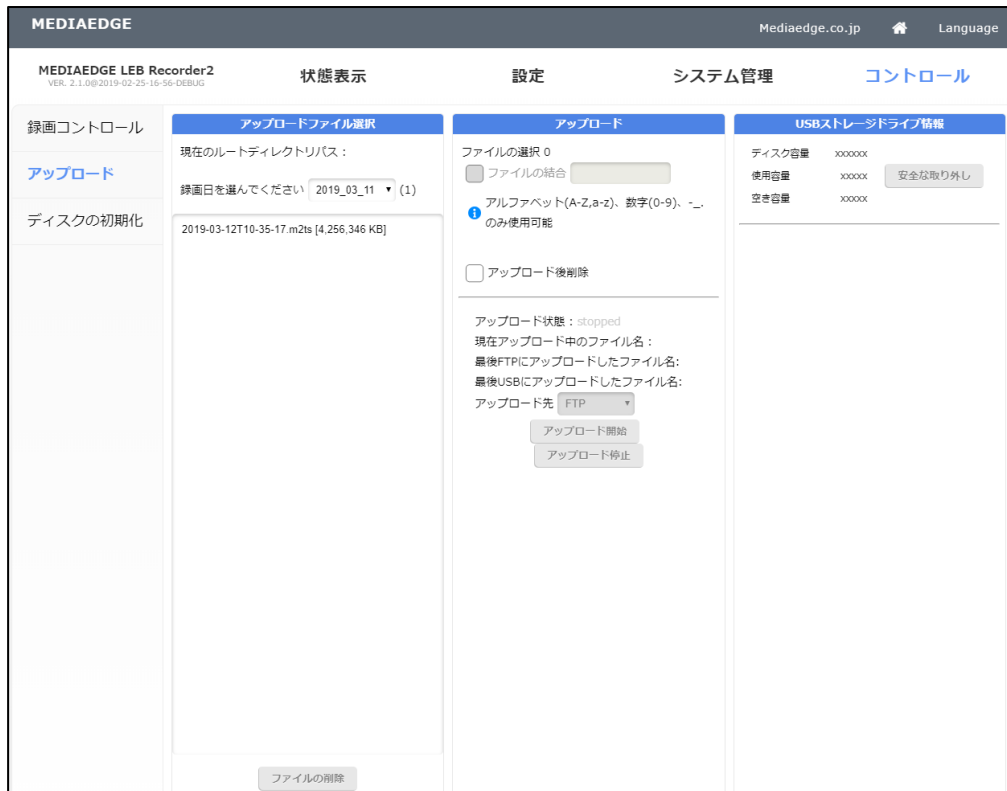
- 1、配信開始のタイミングを「オンデマンド」に設定した場合、再生端末または映像配信サーバーなどから、rtsp://LEB Recorder2 IP_Address/Video のリクエストを受けるとリクエスト先へエンコード映像のストリーミング配信を開始します。
- 2、配信開始のタイミングを「起動時」に設定すると、LEB Recorder2 が起動時に指定した配信アドレスに自動的に配信を開始します。 但し、ユニキャストで起動時配信すると録画はできません。
- 3、複数本ユニキャスト配信中は負荷が多いため、録画すると収録映像が乱れる可能性があります。録画する場合はできるだけユニキャスト配信を複数本にしないことをお勧めいたします。



■ II-5-2. アップロード

録画ファイルを USB ドライブにコピー又は FTP サーバーへアップロードします。

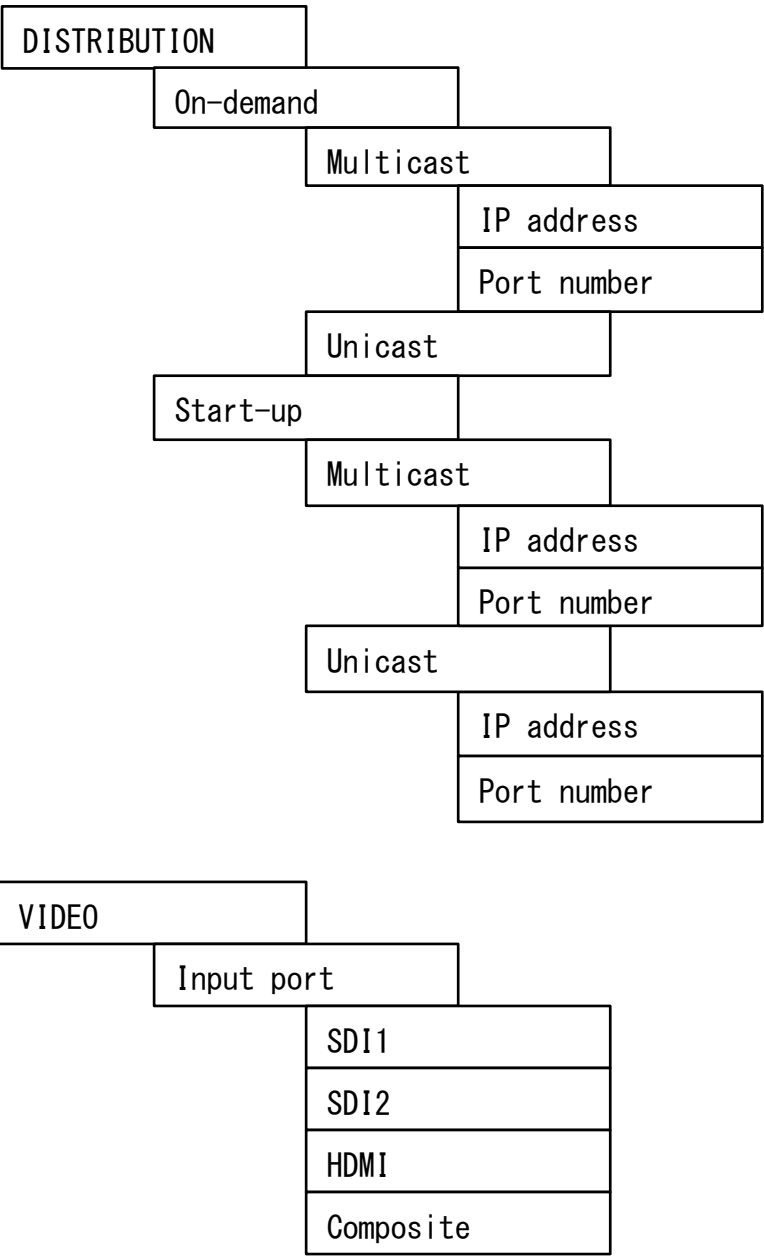
- 1、[MEDIAEDGE Finder]を起動して対応する Presentation URL をクリック、もしくは Web ブラウザを起動し、URL に Http:// (LEB Recorder2 の IP アドレス) を入力して Web コンソールを開きます。
- 2、ユーザー認証ダイアログでユーザー名 : admin、パスワード : 空白 (ブランク) を入力します。
- 3、[Language]-[日本語] をクリックします。
- 4、[コントロール] → [アップロード] をクリックします。



- 5、左側の枠からアップロードするファイルを選択します。
- 6、選択したファイルを結合してアップロードする場合はファイル結合に✓を入れ、結合したファイルの名前を入力します。
- 7、アップロードしたファイルをストレージから削除する場合は、アップロード後削除に✓を入れます。
- 8、ストレージのファイルを削除する場合は中央の下枠にドラッグします。
[ファイルの削除] ボタンを押すと、ファイルが削除されます。
- 9、右側の上枠からアップロード先 (USB ドライブ、FTP サーバー) を選択します。
[アップロード開始] ボタンを押すと、指定したところにアップロードされます。
- 10、USB ストレージが本体に接続されている場合は右側の下枠にディスク容量、使用容量、空き容量などが表示されています。USB ストレージを本体から取り外す場合は、必ず[安全な取り外し] ボタンを押してください。録画やアップロードを停止せずに USB ストレージを外すと、ファイルシステムが壊れて録画ファイルを損失する恐れがあります。

II-6. フロントパネルによる設定

MEDIAEDGE LEB Recorder2 はフロントパネルから動作モードを設定することが可能です。フロントパネルから設定できるメニューには以下の項目があります。



NETWORK	
IPv6	
	Disable
	Enable
IPv4	
	DHCP
	Manual
	IP address
	Subnet mask
	Gateway
DNS config	
	DHCP
	Manual
	Preferred DNS
	Alternate DNS

SYSTEM	
Date	
LCD info	
	Status
	IP address
	Date

INFORMATION

SHUTDOWN	
Power off	
Reboot	

➤ 基本的なメニューの操作方法について

[上]/[下]キー	メニューや設定項目はこのキーを押して切り替えます。
[左]/[CANCEL]キー	メニューの一つ前の階層に戻る場合、操作をキャンセルする場合、設定メニューを終了する場合に使用します。
[右]/[MENU]/[ENTER]キー	メニューモードを表示する場合、メニューの次の項目に進む(項目を選択する)場合、操作を確定する場合に使用します。

➤ 設定の反映について

設定メニューで設定を変更した場合、メニューの最上位階層で[左]/[CANCEL]キーを押すと設定の保存を確認する画面が表示されます。

Save config ? [Yes ◆]

Yes を[上]/[下]キーで選択し[右]/[MENU]/[ENTER]キーを押すと設定が本体に保存されます。

設定の反映に再起動が必要な場合、自動的に再起動します。

No を[上]/[下]キーで選択し[右]/[MENU]/[ENTER]キーを押すと変更を行った全ての設定が破棄され、設定メニューを終了します。

■ II-6-1. 配信モードの設定 (DISTRIBUTION)

➤ DISTRIBUTION

配信モードを設定します。

On-demand	オンデマンド配信モードに設定します。
Start-up	起動時に自動的に配信を開始します。

配信モードで[On-demand]または[Start-up]を選択すると、配信方式の設定画面が表示されます。

Multicast	マルチキャスト配信を行います。
Unicast	ユニキャスト配信を行います。

配信方式を選択すると、配信アドレスの設定画面が表示されます。

IP address	送信先の IP アドレスを指定します。
Port number	送信先ポート番号を指定します。



配信方式を Start-up、配信方法を Unicast に設定すると RTSP クライアント (USDP-R5000, Decoder, SWT4, SVS4 等)との接続ができなくなります。
この場合は他の設定の組み合わせに変更してください。

■ II-6-2. ビデオ入力の設定 (VIDEO)

- VIDEO-input port
ビデオ入力ポートを設定します。

SDI1	SDI1 を選択します。
SDI2	SDI2 を選択します。
HDMI	HDMI を選択します。
Composite	コンポジットを選択します。

■ II-6-1. ネットワークの設定 (NETWORK)

- NETWORK-IPv6
IPv6 の有効/無効を設定します。

Disable	IPv6 を無効にします。
Enable	IPv6 を有効にします。

- NETWORK-IPv4
MEDIAEDGE LEB Recorder2 に IP アドレスを割り当てる方法を設定します。

☐ Manual による指定方法

Manual を選択すると、サブメニューとして[IP adress]、[Subnet mask]、[Gateway]が選択できます。

IP address xxx.xxx.xxx.xxx

Subnet mask xxx.xxx.xxx.xxx

Gateway xxx.xxx.xxx.xxx

いずれも[上]/[下]キーで数字が送られ、[右/MENU/ENTER]キーで次の項目に[左/CANCEL]キーで前の項目に戻ります。

一番左の項目で[左/CANCEL]キーを押すと設定をキャンセル、一番右の項目で[右/MENU/ENTER]キーを押すと確定されます。

➤ NETWORK-DNS config

MEDIAEDGE Recorder2 に DNS サーバーを指定する方法を設定します。

DHCP	DHCP によって割り当てられる DNS サーバーを使用します。
Manual	DNS サーバーを手動で設定します。

□ Manual による指定方法

Manual を指定するとサブメニューが表示されます。

Perferred DNS	優先 DNS サーバーのアドレスを設定します。
Altermate DNS	代替 DNS サーバーのアドレスを設定します。

□ 指定方法

Preferred DNS xxx.xxx.xxx.xxx

Alternate DNS xxx.xxx.xxx.xxx

いずれも[上]/[下]キーで数字が送られ、[右/MENU/ENTER]キーで次の項目に、[左/CANCEL]キーで前の項目に戻ります。

一番左の項目で[左/CANCEL]キーを押すと設定をキャンセル、一番右の項目で[/MENU/ENTER]キーを押すと確定されます。

DNS サーバーを指定しない場合は 0.0.0.0 を設定してください。

■ II-6-2. システム (SYSTEM)

➤ SYSTEM-Date

日付と時刻を設定します。

□指定方法

Date 2019/01/01 09:00

いずれも[上]/[下]キーで数字が送られ、[右/MENU/ENTER]キーで次の項目に、
[左/CANCEL]キーで前の項目に戻ります。

一番左の項目で[左/CANCEL]キーを押すと設定をキャンセル、一番右の項目で
[右/MENU/ENTER]キーを押すと確定されます。

□SYSTEM-LCD info

設定メニューに入っていない状態で LCD に標準で表示する情報を選択します、

項目	LCD 表示
Status	<p>配信方式（配信開始のタイミング、マルチキャスト/ユニキャスト） および配信状態、配信アドレスを表示します。</p> <p>例) 配信開始: オンデマンド、ユニキャスト設定時の表示</p> <div><p>On-demand(Uni)</p><p>→192.168.0.16</p></div> <p>※2 行目には再生要求があった MEDIAEDGE Decoder の IP アドレスがすべて表示されます。</p> <p>例) 配信開始: 起動時、マルチキャスト設定時の表示</p> <div><p>Start-up(Multi)</p><p>→224.0.1.0</p></div> <p>※2 行目には配信中のマルチキャストアドレスが表示されます。</p>
IP address	<p>機種名および IPv4 アドレスを表示します。</p> <div><p>LEB Recorder2</p><p>192.168.0.17</p></div>
Date	<p>機種名および現在日時を表示します。</p> <div><p>LEB Recorder2</p><p>2019/01/01 09:00</p></div>

■ II-6-1. 情報表示 (INFORMATION)

INFORMATION メニューを使用すると、現在の設定を LCD に表示することができます。

[上]/[下]キーで項目を送ることができ、[右/MENU/ENTER]/[左/CANCEL]キーで設定メニュー表示へ戻ります。※表示内容が LCD 内に納まらない場合は自動スクロールして表示します。

項目	LCD 表示
製品名 System Version	<div>LEB Recorder2 Ver. x.x.x</div>
MAC address	<div>MAC address xx:xx:xx:xx:xx:xx</div>
IPv6 address	<div>IPv6 address xxxx:xxxx::xxxx:xxxx/xx</div> <p>※IPv6 アドレスが複数割り当てられている場合は、全て表示されます。 ※IPv6 が無効の場合は、表示されません。</p>
IPv4 address	<div>IPv4 address xxx.xxx.xxx.xxx</div> <p>※割り当てられていない場合は、0.0.0.0 と表示されます。</p>
Subnet mask	<div>Subnet mask xxx.xxx.xxx.xxx</div> <p>※割り当てられていない場合は、0.0.0.0 と表示されます。</p>
Default Gateway	<div>Gateway xxx.xxx.xxx.xxx</div> <p>※割り当てられていない場合は、0.0.0.0 と表示されます。</p>
Preferred DNS	<div>Preferred DNS xxx.xxx.xxx.xxx</div> <p>※割り当てられていない場合は、0.0.0.0 と表示されます。</p>

Alternate DNS	<div>Alternate DNS xxx.xxx.xxx.xxx</div> <p>※割り当てられていない場合は、0.0.0.0 と表示されます。</p>
Host name	<div>Host name xxxxxxxxxxxxxxxxxx</div>

■ II-6-1. シャットダウン（SHUTDOWN）

システムを終了または再起動します。

Power off	システムをシャットダウンし、電源を切ります。
Reboot	システムをシャットダウンし、再起動します。

II-7. WEB コンソールによる設定

■ II-7-1. 準備

MEDIAEDGE LEB Recorder2 と同一ネットワーク内にPCを接続し、Webブラウザからアクセスすると、Web コンソールによる設定を行うことができます。

設定に使用する PC は設定を行う MEDIAEDGE LEB Recorder2 と同一ネットワーク上に存在する必要があります。PC のネットワーク設定は、MEDIAEDGE LEB Recorder2 を設置したネットワーク環境に適合する形で設定する必要があります。

その他、DHCP 機能を利用して自動設定を行うこともできます。

■ II-7-2. 設定・操作メニュー

MEDIAEDGE LEB Recorder2 を起動します。

下記手順で PC から MEDIAEDGE LEB Recorder2 の設定・操作メニューにアクセスします。

1、[MEDIAEDGE Finder]を起動して対応する Presentation URL をクリック、もしくは Web ブラウザを起動し、

URL に Http://(LEB Recorder2 の IP アドレス)を入力して Web コンソールを開きます。

2、ユーザー認証ダイアログでユーザー名 : admin、パスワード : 空白 (ブランク) を入力します。

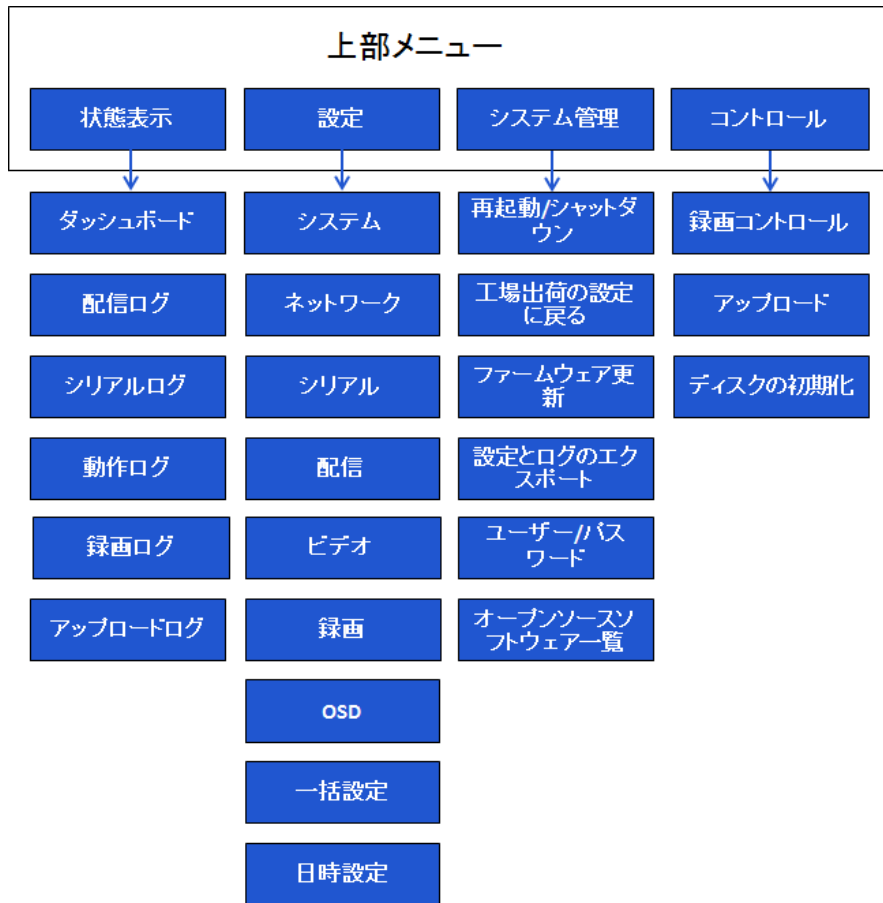
3、[Language]-[日本語]をクリックします。

日本語の設定・操作メニューが表示されます。

MEDIAEDGE Mediaedge.co.jp Language				
MEDIAEDGE LEB Recorder2 VER. 2.1.0@2019-02-25-16-56-DEBUG	状態表示	設定	システム管理	コントロール
ダッシュボード	装置名 MEDIAEDGE LEB Recorder2	ビデオポート HDMI	エンコード stopped	配信先 none
配信ログ	バージョン 2.1.0@2019-02-25-16-56-debug	ビデオフォーマット unknown	録画 stopped	アップロード stopped
シリアルログ	ファン1 working	温度 41℃	CPUの消費量 14%	メモリ 30% 37,272[KB]使用済 86,172[KB]空き容量
動作ログ	ファン2 working			
録画ログ				
アップロードログ				
	Uptime : 2 Days + 00:34:06			

■ II-7-3. メニューの全体構成

LEB Recorder2 のメニュー構成は次の通りです。



■ II-7-4. 上部メニュー

	項目	説明
1	状態表示	[ダッシュボード]、[配信ログ]、[シリアルログ]、[動作ログ]、[録画ログ]、[アップロードログ]ページへのリンクがあります。 内部ステータスおよび動作ログを表示します。
2	設定	[システム]、[ネットワーク]、[シリアル]、[配信]、[ビデオ]、[録画]、[ビデオ]、[録画]、[OSD]、[一括設定]、[日時設定]ページへのリンクがあります。MEDIAEDGE LEB Recorder2 本体に保存されているローカル設定の変更や、設定値ファイルを指定しての一括設定、日時の設定を行うことができます。
3	システム管理	[再起動/シャットダウン]、[工場出荷の設定に戻る]、[ファームウェア更新]、[設定とログのエクスポート]、[ユーザー/パスワード]、[オープンソースソフトウェア一覧]ページへのリンクがあります。
4	コントロール	[録画コントロール]、[アップロード]、[ディスクの初期化]ページへのリンクがあります。

■ II-7-5. 状態表示

1、ダッシュボード

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.603@2018-11-26-15-53

状態表示 設定 システム管理 コントロール

① 装置名 MEDIAEDGE LEB Recorder2	⑤ ビデオポート HDMI	⑧ エンコード stopped	⑪ 配信先 none
② バージョン 2.0.603@2018-11-26-15-53	⑥ ビデオフォーマット 1920x1080/59.94i	⑨ 録画	⑫ アップロード
③ ファン1 working	⑦ 温度 40°C	⑩ CPUの消費量 6%	⑬ メモリ 23,852[KB]使用済 99,620 [KB]空き容量
④ ファン2 working	⑭ Uptime : 5 Days + 04:16:28		

	項目	説明
1	装置名	設定した装置名が表示されます。
2	バージョン	ファームウェアのバージョンが表示されます。
3	ファン1	FAN1 の稼働状態が表示されます。
4	ファン2	FAN2 の稼働状態が表示されます。
5	ビデオポート	設定した入力ポートが表示されます。
6	ビデオフォーマット	入力中のビデオフォーマットが表示されます。
7	温度	筐体内の温度が表示されます。
8	エンコード	エンコード動作の状態が表示されます。
9	録画	録画動作の状態が表示されます。
10	CPU の消費量	CPU の負荷が表示されます。
11	配信先	配信先の IP アドレスが表示されます。
12	アップロード	アップロード動作の状態が表示されます。
13	メモリ	内蔵メモリの使用率が表示されます。
14	Uptime	MEDIAEDGE LEB Recorder2 が起動してからの時間が表示されます。

2、配信ログ

The screenshot shows the MEDIAEDGE LEB Recorder2 interface. The top navigation bar includes 'MEDIAEDGE', 'Mediaedge.co.jp', and 'Language'. Below this, there are tabs for '状態表示' (Status Display), '設定' (Settings), 'システム管理' (System Management), and 'コントロール' (Control). The left sidebar contains a 'ダッシュボード' (Dashboard) section with links to '配信ログ' (Distribution Log), 'シリアルログ' (Serial Log), '動作ログ' (Operation Log), '録画ログ' (Recording Log), and 'アップロードログ' (Upload Log). The main content area displays the '配信ログ' (Distribution Log) with a list of log entries. The log entries include timestamps, IP addresses, and system messages such as 'RTSP server terminated', 'Server listening on 0.0.0.0 port 22', 'Media server started', 'RTSP connection with 127.0.0.1 established', and 'Transmission of rtsp://127.0.0.1:554/video started successfully'.

配信ログが確認できます。

3、シリアルログ

The screenshot shows the MEDIAEDGE LEB Recorder2 interface. The top navigation bar includes 'MEDIAEDGE', 'Mediaedge.co.jp', and 'Language'. Below this, there are tabs for '状態表示' (Status Display), '設定' (Settings), 'システム管理' (System Management), and 'コントロール' (Control). The left sidebar contains a 'ダッシュボード' (Dashboard) section with links to '配信ログ' (Distribution Log), 'シリアルログ' (Serial Log), '動作ログ' (Operation Log), '録画ログ' (Recording Log), and 'アップロードログ' (Upload Log). The main content area displays the 'シリアルログ' (Serial Log) with a list of log entries. The log entries include timestamps, IP addresses, and system messages such as 'user.info psci: start server', 'Logging: Disable', 'serial disabled', and 'start server'.

シリアル通信のログが確認できます。

シリアルパススルーでの通信内容をログとして確認できます。

4、動作ログ

The screenshot shows the MEDIAEDGE LEB Recorder2 interface. The top navigation bar includes 'MEDIAEDGE', 'Mediaedge.co.jp', and 'Language'. Below this, there are tabs for '状態表示' (Status Display), '設定' (Settings), 'システム管理' (System Management), and 'コントロール' (Control). The left sidebar contains a 'ダッシュボード' (Dashboard) section with links to '配信ログ' (Distribution Log), 'シリアルログ' (Serial Log), '動作ログ' (Operation Log), '録画ログ' (Recording Log), and 'アップロードログ' (Upload Log). The main content area displays the '動作ログ' (Operation Log) with a list of log entries. The log entries include timestamps, IP addresses, and system messages such as 'cron: USER root pid 31685 cmd /home/canopus/wen_usage.sh >> /var/log/wen_usage'.

動作ログが確認できます。

5、録画ログ

The screenshot shows the MEDIAEDGE LEB Recorder2 web interface. The top navigation bar includes the MEDIAEDGE logo, the URL Mediaedge.co.jp, and a Language dropdown. Below this is a secondary navigation bar with tabs: 状態表示 (Status Display), 設定 (Settings), システム管理 (System Management), and コントロール (Control). The main content area is titled '録画ログ' (Recording Log). On the left, there is a sidebar with a 'ダッシュボード' (Dashboard) button and a list of log types: 配信ログ (Distribution Log), シリアルログ (Serial Log), 動作ログ (Operation Log), 録画ログ (Recording Log - highlighted in blue), and アップロードログ (Upload Log). The recording log itself displays a series of system messages, including recording start times, file paths, and hardware status checks (e.g., HDD free space).

録画のログが確認できます。

6、アップロードログの表示画面

This screenshot shows the same MEDIAEDGE LEB Recorder2 interface, but with the 'アップロードログ' (Upload Log) tab selected in the sidebar. The main content area is currently empty, indicating that no upload logs are present or have been filtered out. The navigation and sidebar elements remain consistent with the previous screenshot.

アップロードのログが確認できます。

■ II-7-6. 設定

1、システム

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.003@2018-11-26-15-33

状態表示

設定

システム管理

コントロール

システム

ネットワーク

シリアル

配信

ビデオ

録画

OSD

一括設定

日時設定

フロントパネル

LCD表示
☒ステータス ☐IPアドレス ☐日付と時刻
フロントパネル操作 ☒有効 ☐無効

タイムゾーン
☒日本標準時(JST/UTC+9) ☐GMT+12 ☐夏時間

リモートログ
出力先ホスト

Wake On LAN
☐有効 ☒無効

設定

キャンセル

項目	説明
フロントパネル	LCD の表示内容やフロントパネル操作の可否を設定できます。
リモートログ	Syslog 形式のログをネットワークに出力する場合に設定します。設定する場合は出力先ホスト(ホスト名又は IP アドレス)を入力します。
タイムゾーン	タイムゾーンを利用するエリアもしくは時差のどちらかを選択します。
Wake On LAN	Wake On LAN の有効/無効を設定します。
設定ボタン	入力した値を本体のメモリに書き込みます。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

2、ネットワーク

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2

VER. 2.8.600@2018-01-26-15-53

状態表示

設定

システム管理

コントロール

システム

ネットワーク

シリアル

配信

ビデオ

録画

OSD

一括設定

日時設定

IPv4

☒ IPv4アドレスを自動的に取得する (DHCP)
☐ 次のIPアドレスを使う

IPアドレス

192.168.103.80

サブネットマスク

255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ

192.168.103.1

DNS

☒ DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のDNSサーバーのアドレスを使う

優先DNSサーバー

192.168.103.1

代替DNSサーバー

192.168.140.101

DNSドメイン名

localdomain

IPv6

☒ IPv6を無効にする
☐ IPv6を有効にする
 (DHCPv6またはステートレスアドレス自動設定)

DHCPによる自動設定・更新

☒ 有効 ☐ 無効

NTP

☒ NTPサーバーのアドレスを自動的に取得する
☐ 次のNTPサーバーを使う

NTPサーバー

更新間隔

60 分

機器情報

ホスト名

LEB-0104DD

ホスト名は48文字まで

アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)、ハイフン(-)のみ使用可能

UPaP

☒ 有効 ☐ 無効

SNMP

☐ 有効 ☒ 無効

バージョン

☒ SNMPv2 ☐ SNMPv3

コミュニティ名(SNMPv2) / デフォルトユーザー名(SNMPv3)

public

アクセスモード

☐ リードオンリー ☒ リードライト

SNMPv3

認証

☐ なし ☒ MD5 ☐ SHA

認証パスワード

暗号化

☒ なし ☐ DES

暗号化パスワード

認証パスワード、暗号化パスワードは8文字以上15文字まで

ファイル共有

☒ 有効 ☐ 無効

ユーザー名

mediaedge

パスワード

Internal HDD

☐ 無効 ☐ リードオンリー ☒ リードライト

USBストレージ

☐ 無効 ☐ リードオンリー ☒ リードライト

設定

キャンセル

項目	説明
IPv4	IPv4 アドレスの取得方法及び詳細設定を行います。[IPv4 アドレスを自動的に取得する(DHCP)]にチェックを付けた場合、DHCP サーバーから自動取得します、[次の IP アドレスを使う]にチェックを付けた場合、[IP アドレス]、[サブネット

	マスク]および[デフォルトゲートウェイ]の設定が可能となります。
IPv6	IPv6 アドレスの有効/無効を設定します。IPv6 が有効の場合、現在の IP アドレスが表示されます。
NTP	NTP(Network Time Protocol)サーバーを利用した時刻補正の使用/不使用を設定します。[N T P サーバーのアドレスを自動的に取得する]を選択した場合、D H C P を使用して N T P サーバーのアドレスを取得します。[次の N T P サーバーを使う]にチェックを付けた場合は、使用する NTP サーバー(サーバー名、または IP アドレス)を設定します。 更新間隔は[N T P サーバーのアドレスを自動的に取得する]、[次の N T P サーバーを使う]のどちらにチェックを付けた場合でも設定する必要があります。
SNMP	ネットワーク接続された機器を一括管理するプロトコルである S N M P(Si m ple Network Management Protocol)に関する設定を行います。 ●バージョン S N M P のバージョンを[v2]/[v3]より選択します。 ●コミュニティ名(SNMPv2)/デフォルトユーザー名(SNMPv3) SNMPv2 を選択した場合は[コミュニティ名]を設定します。 SNMPv3 を選択した場合は[デフォルトユーザー名]を設定します。 ●アクセスモード MIB オブジェクト値を読み取り専用で接続するかを設定します。
SNMPv3	S N M P のバージョンを[v3]を選択した場合は[認証方式]と[暗号方式]が設定できます。 ●認証 SNMPv3 の認証方法を[なし]、[MD5]、[SHA]より選択します。 ●認証パスワード 認証を行う際に使用するパスワードが設定できます。 ※8 文字以上 15 文字以下。 ●暗号化 通信の暗号化を行えます。暗号化方式として[DES]が選択できます。 ●暗号化パスワード 暗号化を行う際に使用するパスワードが設定できます。 ※8 文字以上 15 文字以下。
ファイル共有	ネットワーク経由での USB ストレージ共有ファイルの有効/無効、および[ユーザー名]、[パスワード]を設定します(パスワードは、工場出荷時は設定されていません)。ネットワーク経由で USB ストレージ内のファイルを変更/削除する場合はリードライトを選択します。
DNS	サーバーの取得方法および詳細設定を行います。[DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する]にチェックを付けた場合、DHC サーバーから自動的に取得します。
DHCP による自動	DHCP による自動設定やファームウェアの自動更新が行えます。

設定・更新	
機器情報	<p>ホスト名を設定します。</p> <p>※ホスト名は 48 文字まで設定できます。アルファベット(A-Z、a-z)、数字(0-9)、ハイフン(-)のみ使用可能。</p> <p>※1文字目にハイフン(-)は使用できません。</p>
UPnP	UPnP(Universal Plug and Play)機能の[有効]/[無効]を設定します。PC から MEDIAEDGE LEB Recorder2 の検索を行う場合は[有効]を選択してください。
設定ボタン	入力した設定値を書き込みます。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

3、シリアル

The screenshot shows the 'Serial' configuration page of the MEDIAEDGE LEB Recorder2. The left sidebar lists various system settings, with 'Serial' highlighted. The main area is divided into sections: 'Remote Serial' with radio buttons for 'Disabled', 'Handshake (Communication Request)', 'Fixed Connection' (with a text input field), and 'Server Action'; 'Communication Speed' with radio buttons for 1200, 2400, 4800, 9600, 19200, 38400, 57600, and 115200; 'Data Bit Length' with radio buttons for 7 and 8; 'Parity' with radio buttons for 'None', 'Odd', and 'Even'; 'Stop Bit Length' with radio buttons for 1 and 2; and 'Flow Control' with radio buttons for 'None', 'Software', and 'Hardware'. There are also input fields for 'Connection Port Number' and 'Waiting Port Number', both set to 60001. At the bottom, there are '設定' (Settings) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

項目	説明	
リモートシリアル	COMポートのリモートシリアル機能の設定を[無効]/[連動(通信要求相手)]/[固定接続]/[サーバー動作]/[録画用コントローラー]より選択します。	
	無効	リモートシリアルを無効にしました。
	連動 (通信要求相手)	通信を要求してきた相手に対してリモートシリアル接続を行います
	固定接続	指定したホスト名、もしくは IP アドレスのホストコンピュータに接続を行います。
	サーバー動作	ホストコンピュータからの接続を待ち受け、サーバーとして動作します。(TCP 接続のみ) ●接続ポート番号 リモートシリアルホストコンピュータのポート番号を設定します。(連動(通信要求相手)、もしくは固定接続のみ)

	<p>●待機ポート番号</p> <p>リモートシリアルデータの送受信に使用するポート番号を設定します。</p>
プロトコル	リモートシリアルで使用する通信プロトコルを[TCP]/[UDP]より選択します。 (連動(通信要求相手)、もしくはサーバー動作選択時は TCP 接続のみ)
シリアルログ出力	通信データのログ出力の設定を[有効]/[無効]より選択します。
通信速度	シリアルポートの通信速度を設定します。
データビット長	シリアルポートのデータビット長を設定します。
パリティ	シリアルポートのパリティ(データの誤りを検出する技法)を設定します。
ストップビット長	シリアルポートのストップビット長を設定します。
フロー制御	シリアルポートのフロー制御を設定します。
設定ボタン	入力した設定値を書き込みます。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

4、配信

MEDIAEDGE
Mediaedge.co.jp
Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.603@2018-11-26-15-53
状態表示
設定
システム管理
コントロール

システム
ネットワーク
シリアル
配信
ビデオ
録画
OSD
一括設定
日時設定

配信方式

配信開始のタイミング
☒ オンデマンド
☐ 起動時

☐ マルチキャスト (マルチキャストTTL)
☒ ユニキャスト (ユニキャスト同時配信数 1以上16以下)

配信アドレス

配信ポート番号 1以上65533以下

RTP送信プロトコル
☒ UDPまたはTCP
☐ UDPのみ
☐ TCPのみ

FEC

FECパケット数とパケット間隔

MTU

バスMTU

576 byte以上1500 byte以下

パケット

パケットカウント

2以上256以下

帯域

帯域制御

kbps単位で最大100000まで、0は帯域制限無効

設定
キャンセル

項目	説明
配信方法	<p>●配信開始のタイミング</p> <p>オンデマンド配信か、起動時配信を選択します。オンデマンド配信は MEDIAEDGE Decoder 等からのリクエストがある場合のみ配信を行い、起動時配信は MEDIAEDGE LEB Recorder2 の起動直後から配信を開始します。</p> <p>●マルチキャスト/ユニキャスト</p> <p>ストリームの配信方式を[マルチキャスト]/[ユニキャスト]より選択します。</p>

	<p>マルチキャストは 1 本のストリームを多拠点に配信する方式、ユニキャストはクライアント端末毎に 1 本のストリームを配信する方式です。</p> <p>マルチキャスト TTL: マルチキャスト時の TTL(Time To Live)を指定します。</p> <p>ユニキャスト同時配信数: ユニキャストの同時配信可能な最大数を指定します。</p> <p>工場出荷時は 16 が設定されています。1～16 までの範囲で指定可能です。</p> <p>●配信アドレス</p> <p>起動時配信時、もしくはマルチキャストによるオンデマンド配信時の送信先アドレスを指定します。配信方式がマルチキャストの場合、IP v4 の場合は 224.0.1.0～239.255.255.255 の範囲で、ユニキャストの場合はそれ以外のアドレスを指定します。IPv6 の場合は ffx::xxxx など、ff で開始されるアドレスがマルチキャストアドレスとなります。</p> <p>●配信ポート番号</p> <p>起動時配信時、もしくはマルチキャストによるオンデマンド配信時の送信先ポート番号を指定します。FEC 時には[指定したポート番号]、[指定したポート番号+2]の 2 つが使用されます。</p> <p>※配信アドレスおよび配信ポート番号はオンデマンド/ユニキャストの場合のみ動的に決定されます。それ以外の場合はあらかじめ指定しておく必要があります。</p> <p>●RTP 送信プロトコル</p> <p>RTP パケットを配信する際のプロトコルを指定します。</p> <p>[UDP または TCP]</p> <p>RTSP クライアントからの要求により RTP パケットを UDP または TCP (RTP over RTSP) で送信します。</p> <p>[UDP のみ]</p> <p>RTSP クライアントから UDP での配信要求があった場合にのみ RTP パケットを UDP で送信します。(TCP での要求はエラーとなります。)</p> <p>[TCP のみ]</p> <p>RTSP クライアントから TCP での配信要求があった場合にのみ RTP パケットを TCP で送信します。(UDP での要求はエラーとなります。)</p>
FEC	FEC(Forward Error Correction)機能を使用しない場合は無効、使用する場合は FEC パラメーターを指定します。(「FEC とパラメーターについて」(p40 参照))
MTU	MTU(Maximum Transmission Unit)値を設定します。単位はバイトです。576～1500 の範囲で設定します。
パケット	配信する RTP パケットに格納する MPEG-2 TS パケット数を設定します。2～256 の範囲で指定可能です。(1TS パケットは 188 バイト(オクテット)です。)
帯域	通信帯域の上限(kbps 単位)を 0～100000 の範囲で設定します。0 を設定した場合は帯域制限が無効となります。
設定ボタン	入力した設定値を書き込みます。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

■参考

「FEC とパラメーターについて」

FEC とは冗長なデータ(FEC パケット)をメディアパケットと共に配信することで配信中に生じたデータの欠落や誤りの復元を行う手法です。

FEC パケットの作成は 2 つのパラメーター(Number、Interval)の組み合わせを使用します。

N u m b e r を大きくするとリカバリ精度は下がりますがビットレートの増加は少なくて済みます。

N u m b e r を小さくするとリカバリの精度は上がりますがビットレートの増加は大きくなります。

Interval を大きくすると連続したパケットロスに対する耐性が強くなります。

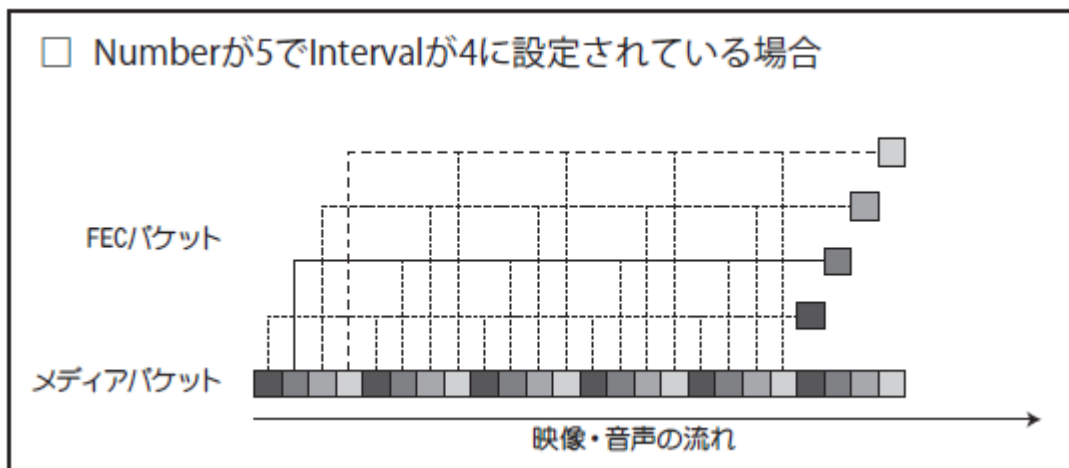
また、それぞれ大きい値を選んだ方が遅延時間は大きくなります。

•Number

FEC パケットを作成するときに使用するメディアパケットの数を指定します。

•Interval

FEC パケットを作成するときに使用するメディアパケットの間隔を指定します。



5、ビデオ

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2

VER. 2.0.00(2019-11-26-22:51)

状態表示

設定

システム管理

コントロール

システム

ネットワーク

シリアル

配信

ビデオ

録画

OSD

一括設定

日時設定

入力

ビデオポート

SDI1

SDI2

HDMI

コンポジット

NTSCセットアップレベル

0IRE(NTSC-J)

7.5IRE(NTSC-M)

オーディオポート

ビデオポートと連動

アナログ

オーディオチャンネル

ミュート

モノラル

ステレオ

オーディオ遅延時間

0

ミリ秒

0ミリ秒以上120ミリ秒以下、0は遅延なし

アナログ入力音量

左

0

右

0

-63dB以上+6dB以下、1dB以上を指定すると音声が入力されることがある

NULLパケット付加

有効

無効

フレームバッファ

有効

無効

フレームバッファを無効にすると、入力信号が未検出の状態ではエンコード動作が停止する

入力信号が無い時のビデオフレーム

黒画面

最後の画面

コンポジット入力の場合は、設定にかかわらず黒画面が表示される

エンコード

低遅延エンコード

有効

無効

CPBバッファ遅延量

標準(1.0秒)

小(0.3秒)

ビデオインターフェース	1920x1080/59.94i	1920x1080/50i	1280x720/59.94p	1280x720/50p	720x480/59.94i	720x576/50i
エンコードフォーマット	1440x1080/59.94i	1440x1080/50i	1280x720/59.94p	1280x720/50p	720x480/59.94i	720x576/50i
ビデオビットレート	24000 kbps 5000以上24000以下	10000 kbps 5000以上24000以下	8000 kbps 4000以上24000以下	8000 kbps 4000以上24000以下	6000 kbps 3000以上10000以下	6000 kbps 3000以上10000以下
アスペクト比	16:9	16:9	16:9	16:9	4:3	4:3
オーディオフォーマット	MPEG-1 layer2	MPEG-1 layer2	MPEG-1 layer2	MPEG-1 layer2	MPEG-1 layer2	MPEG-1 layer2
オーディオチャンネル	ステレオ	ステレオ	ステレオ	ステレオ	ステレオ	ステレオ
オーディオビットレート	128 kbps	128 kbps	128 kbps	128 kbps	128 kbps	128 kbps

設定

キャンセル

項目	説明
入力	<p>●ビデオポート</p> <p>ビデオ信号を入力するポートを[SDI1]/[SDI2]/[HDMI]/[コンポジット]から選択します。</p> <p>●NTSC セットアップレベル</p> <p>ビデオポートを[コンポジット]に設定した時のみ選択可能です。</p> <p>入力するコンポジット信号により[0IRE(N TSC-J)]/[7.5IRE(N TSC-M)]から選択します。</p> <p>●オーディオポート</p> <p>配信するストリームに重畳するオーディオポートを選択します。</p> <p>[ビデオポートと連動]</p> <p>オーディオポート設定が[SDI1]/[SDI2]/[HDMI]の場合はそれぞれのポートから、[コンポジット]の場合はアナログオーディオ入力端子から入力します。</p>

	<p>[アナログ]</p> <p>ビデオポート設定に関わらずアナログオーディオ入力端子から入力します。</p> <p>●オーディオチャンネル</p> <p>オーディオポートから入力する音声のチャンネルを[ミュート](音量0のデータを出力)/[モノラル](1ch)/[ステレオ](2ch)から選択します。</p> <p>●オーディオ遅延時間</p> <p>オーディオ入力信号の重畳タイミングを遅延させます。</p> <p>0～120 ミリ秒の範囲で指定します。</p> <p>●アナログ入力音量(dB)</p> <p>アナログ音声の入力音量(dB)を設定します。-63～8(dB)の範囲で指定します。通常は 0(dB)で使います。1(dB)以上の値を指定すると音量が大きくなりますが、音声がクリップすることがあります。</p>
NULL パケット付加	<p>エンコード時に NULL パケットを MPEG-2 トラストポートストリームに付加する場合の設定を[有効]/[無効]より選択します。NULL パケットの挿入により、通信ビットレートが増加します。MEDIAEDGE 環境で接続する場合は[無効]を選択してください。</p>
フレームバッファ	<p>フレームバッファ機能の有効/無効を設定します。有効のとき、入力信号が非検出時や不安定な場合にもエンコード動作を継続して行います。</p> <p>※フレームバッファを無効にすると、入力信号が未検出の状態ではエンコード動作が停止します。</p> <p>※フレームバッファ機能を有効にすると入力映像を数フレーム分バッファリングするため無効時に比較してエンコード遅延量が増加します。低遅延エンコード設定を有効にした時に本設定を無効にすると遅延量がさらに少なくなります。</p>
入力信号がない間のビデオフレーム	<p>入力信号が未検出の場合にエンコードするビデオフレームの設定を黒画面/最後の画面より選択します。コンポジット入力は設定内容に関わらず黒画面になります。</p>
エンコード	<p>入力するビデオ信号の形式ごとにエンコードパラメーターを設定します。</p> <p>●低遅延エンコード</p> <p>エンコード遅延量を通常時よりも小さくします。</p> <p>低遅延エンコードでは MEDIAEDGE LEB Recorder2 -MEDIAEDGE Decoder 間で遅延時間はおよそ 0.5 秒程度になります。(通常エンコードではおよそ 1.5 秒程度) 低遅延エンコードに対応したデバイスは MEDIAEDGE Decoder となります。</p> <p>●CPB バッファ遅延量</p> <p>CPB バッファ遅延量を[標準(1.0 秒)]/[小(0.3 秒)]から選択します。低遅延エンコードが無効の場合のみ設定できます。CPB バッファ遅延量を小にすると標準に比べエンコード遅延量が小さくなりますが画質が若干落ちます。</p> <p>●エンコードフォーマット</p> <p>エンコードする際の画素サイズ/フレームレートを選択します。</p> <p>●ビデオビットレート</p>

	<p>ビデオストリームのエンコードビットレートを kbps 単位で設定します。</p> <p>エンコードフォーマットごとのビデオビットレートの推奨値は以下のとおりです。</p> <p>通常は推奨範囲内のビットレートをご使用ください。</p>	
	1920 x 1080	6000～24000kbps
	1440 x 1080	5000～24000kbps
	960x1080, 720x1080 1280x720, 720x 480/59.94p, 720x 576/50p	4000～24000kps
	その他(SD)	3000～10000kbps
	<p>推奨範囲外のビットレートを指定することも可能ですが、特に低いビットレートを指定するとエンコードフォーマットによっては不正なストリームが出力されることがあります。十分評価した上でご使用ください。</p> <p>●アスペクト比 4:3]/[16:9]/[自動](入力信号を自動判別)から選択します。</p> <p>※自動は HDMI(SD)、SD-SDI 入力時のみ選択可能</p> <p>●オーディオフォーマット オーディオストリームのコーデックを[MPEG-1 layer2]、[Dolby Digital]、[MPEG-2AAC-LC]、[MPEG-4AAC-LC]から選択します。</p> <p>低遅延エンコードが有効の時は Dolby Digital は選択できません。</p> <p>●オーディオチャンネル オーディオストリームのチャンネル形式を選択します。</p> <p>●オーディオビットレート オーディオストリームのエンコードビットレートを kbps 単位で設定します。</p> <p>オーディオビットレートはオーディオフォーマット/オーディオチャンネルにより以下のビットレートを設定してください。該当しない値が指定されている場合は最も近い値に設定されます。</p>	
	Dolby Digital	64(モノラルのみ), 80(モノラルのみ), 96(モノラルのみ), 112(モノラルのみ), 128/160/192/224/256/320(ステレオのみ), 384(ステレオのみ), 448(ステレオのみ)
	MPEG-1 Layer2	32(モノラルのみ), 48(モノラルのみ), 56(モノラルのみ), 64/80(モノラルのみ), 96/112/128/160/192/224/256(ステレオのみ), 320(ステレオのみ), 384(ステレオのみ)
	MPEG-2 AAC-LC、 MPEG-4 AAC-LC	モノラルの場合 24～256 ステレオの場合 48～512
設定ボタン	入力した設定値を書き込みます。	
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります	

■低遅延ストリームについて

低遅延ストリームは遅延時間を小さくするため特殊な構造(I, B ピクチャを含まない PPPP 構造)をしており、次の制限があります。



MEDIAEDGE Decoder で再生が開始するまで通常遅延ストリームに比べ若干時間がかかります。

MEDIAEDGE LEB Recorder2 で録画した低遅延ストリームは MEDIAEDGE Decoder 以外のプレイヤーや市販の編集ソフト等で正常に開くことができない場合があります。

6、録画

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.1.0

状態表示

設定

システム管理

コントロール

システム

ネットワーク

シリアル

配信

ビデオ

録画

OSD

一括設定

日時設定

起動時に録画を開始

☐ 有効 ☒ 無効

ルートディレクトリパス

LEB_Recorder2_200

アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)、_、. のみ使用可能

ストレージの空き容量が無くなったときの処理

☐ 録画を中止する
☒ 最も古い録画ファイルを削除して録画を続ける

ファイル分割

☐ サイズで制限 ☒ 時間で制限

サイズ

1048576 KB

1048576以上4194304以下

時間

日 時間 分 秒

(600 秒) 600以上86400以下

FTPアップロード

ホスト名(またはIPアドレス)

192.168.1.250

アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)、_、. のみ使用可能

ポート番号

21

パス

LEB_Recorder2_200

アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)、_、. のみ使用可能

ユーザー名

kishimotoa

パスワード

録画したファイルをFTPへ自動アップロード

☐ 有効 ☐ 無効

録画ファイル名

☐ 日付(YYYY-MM-DDThh-mm-ss+/-hhmm)
☒ 接続辞 + 日付
☐ 接続辞 + 連番

ファイル名の接続辞

LEB_Recorder2_200

アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)、_、. のみ使用可能

ファイル名の連番の開始番号

1

ループ録画

☐ 有効 ☒ 無効

サイズ

3145728 KB

1048576以上2147483648以下

時間

日 時間 分 秒

(1800 秒) 600以上31536000以下

USBへエクスポート

パス

LEB_Recorder2_200

アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)、_、. のみ使用可能

設定

キャンセル

項目	説明
起動時に録画を開始	本機の起動時に録画を自動的に開始する場合の設定を[有効]/[無効]より選択します。
ルート	録画ファイルを格納する USB ストレージ内のディレクトリのパスを設定します。

ディレクトリパス	(例:./directory) パスの指定がない場合はルート(/)に保存されます。
ストレージの空き容量が無くなったときの処理	USB ストレージに空き容量が無くなった時の処理を[録画を中止する]/[最も古い録画ファイルを削除して録画を続ける]から選択します。
録画ファイル名	[日付(YYYY-MM-DDThh-mm-ss±hhmm)]/[接頭辞+日付]/[接頭辞+連番]から選択します。 ●ファイル名の接頭辞 [ファイル名フォーマット]に[接頭辞+日付]または[接頭辞+連番]を指定した場合、ファイル名の先頭に付加する文字列を指定します。 ●ファイル名の連番の開始番号 [ファイル名フォーマット]に接頭辞+連番を指定した場合、連番の開始番号(0～4294967295)を設定します。
ファイル分割	録画ファイルを分割するサイズ(16384～4194304KB)または時間(10～86400秒)を設定します。
ループ録画	ループ録画の有効/無効を設定します。ループ録画は指定のファイルサイズ/時間分だけをストレージに保存し、古い録画ファイルから順に削除を行いながら録画するモードです。ループ録画のサイズ(16384～2147483648KB)または時間(10～31536000 秒)を設定します。
FTP アップロード	録画ファイルをアップロードする FTP サーバーを設定します。 ●ホスト名(または IP アドレス) FTP サーバーのホスト名又は IP アドレスを設定します。 ●ポート番号 通常は21を設定します。 ●パス 録画ファイルをアップロードする FTP サーバー上のパスを設定します。 パスの指定がない場合はルート(/)となります。 ●ユーザー名 FTP サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。アップロードを行うには FTP サーバーにファイルを書き込む権限のあるユーザーである必要があります。 ●パスワード FTP サーバーにログインするためのパスワードを設定します。 ●録画したファイルを FTP に自動アップロード 自動アップロードの有効、無効を設定します。
USB へエクスポート	録画ファイルをエクスポートする USB ドライブへのパスを設定します。
設定ボタン	入力した設定値を書き込みます。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

7、OSD

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.603@2018-11-26-15-53

状態表示

設定

システム管理

コントロール

システム

ネットワーク

シリアル

配信

ビデオ

録画

OSD

一括設定

日時設定

時計表示

日付書式

☒ YYYY/MM/DD
☐ DD/MM/YYYY
☐ MM/DD/YYYY
☐ 非表示

時刻書式

☐ hh:mm:ss
☒ hh:mm
☐ 非表示

表示位置

☒ 左上
☐ 右上
☐ 左下
☐ 右下

☒ 日付・時刻とタイトルは同じ表示位置を選択不可

表示色

☐ 黒
☒ 白

タイトル表示

タイトル文字列

半角で最大 32 文字、全角で最大 16 文字

表示位置

☐ 左上
☐ 右上
☐ 左下
☒ 右下

☒ 日付・時刻とタイトルは同じ表示位置を選択不可

表示色

☐ 黒
☒ 白

設定

キャンセル

項目	説明
時計表示	<p>●日付書式 OSD で表示する日付の書式を設定します。Y=年,M=月,D=日</p> <p>●時刻書式 OSD で表示する時刻の書式を設定します。h=時,m=分,s=秒</p> <p>●表示位置 日付・時刻の表示位置を設定します。 ※タイトル表示と同位置に設定できません。</p> <p>●表示色 日付・時刻の表示色を設定します。</p>
タイトル表示	<p>●タイトル文字列 OSD で表示するタイトルを半角 32 文字、全角 16 文字以内でテキスト入力します。</p> <p>●表示位置 タイトルの表示位置を設定します。 ※時計表示と同位置に設定できません。</p> <p>●表示色 日付・時刻の表示色を設定します。</p>
設定ボタン	入力した設定値を書き込みます。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

8、一括設定

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.603@2018-11-26-15-53

状態表示

設定

システム管理

コントロール

システム

ネットワーク

シリアル

配信

ビデオ

録画

OSD

一括設定

日時設定

一括設定

一括設定ファイル

参照...

実行

キャンセル

項目	説明
一括設定	[システム管理]→[設定とログのエクスポート]→[設定値の取得]を実行して得られる設定値ファイルを編集して指定することで、設定値を一括して書き込むことができます。再起動が必要な設定値を書き換える場合、MEDIAEDGE LEB Recorder2 は自動的に再起動します。
実行ボタン	入力した設定値ファイルを読み込み、設定を一括変更します。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

9、日時設定

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.603@2018-11-26-15-53

状態表示

設定

システム管理

コントロール

システム

ネットワーク

シリアル

配信

ビデオ

録画

OSD

一括設定

日時設定

日時設定

2018 年 12 月 05 日 11 時 18 分 29 秒

☐ PCの時計に同期する

設定

キャンセル

項目	説明
日時設定	MEDIAEDGE LEB Recorder2 の日付と時間を設定します。 [PC の時計に同期する]をチェックして、[設定]ボタンをクリックすると、現在設定に使用している PC から日時を取得して設定を行います。 ※タイムゾーンの設定に関係なく PC の時刻が設定されます。
設定ボタン	入力した日時を設定します。
キャンセルボタン	入力した日時を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。

■ II-7-7. システム管理

1、再起動/シャットダウン



項目	説明
再起動・シャットダウン	<p>●再起動 実行ボタンを押すとシステムの再起動を行います。</p> <p>●シャットダウン 実行ボタンを押すとシステムのシャットダウンを行います。</p>
トップページ	ダッシュボード画面に戻ります。

2、工場出荷の設定に戻る

項目	説明
設定初期化	<p>●設定初期化 実行ボタンを押すと、システムを工場出荷時の設定に戻します。 再起動が必要な設定値を初期化する場合、MEDIAEDGE LEB Recorder2 は自動的に再起動します。</p> <p>●ログの初期化 実行ボタンを押すとログを初期化します。</p>
トップページ	ダッシュボード画面に戻ります。

3、ファームウェア更新

項目	説明
ファームウェア更新	<p>●現行バージョン 現行ファームウェアのバージョンを表示します。</p> <p>●アップデートファイル アップデートファイルが存在するパスを設定します。[参照]ボタンをクリックしてアップデートファイルを選択します。 バージョンチェックを行わないに✓を入れるとファームウェアのバージョンチェック</p>

	を行わず、強制的にファームウェアを更新します。
更新ボタン	設定したファームウェアの更新を行います。 ファームウェア更新時、[更新]ボタンを二度押ししないようにしてください。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります

4、設定とログのエクスポート

The screenshot shows the MEDIAEDGE LEB Recorder2 web interface. The left sidebar contains menu items: 再起動/シャットダウン, 工場出荷の設定に戻る, ファームウェア更新, 設定とログのエクスポート (highlighted), ユーザー/パスワード, and オープンソースソフトウェア一覧. The main content area has tabs for 状態表示, 設定, システム管理, and コントロール. Under the 設定 tab, there is a section titled '情報の取得' (Information Acquisition) with buttons for '設定値の取得' (Acquire Settings) and 'ログの取得' (Acquire Logs), each with an '実行' (Execute) button, and a 'トップページ' (Top Page) button at the bottom.

項目	説明
情報の取得	<p>●設定値の取得</p> <p>MEDIAEDGE LEB Recorder2 の設定値を一括して取得する場合に使用します。一括で取得したファイルは Web コンソールの「設定-一括設定」の項で指定することができます。</p> <p>●ログの取得</p> <p>動作ログを取得する場合に使用します。</p>
トップページボタン	ダッシュボード画面に戻ります。

5、ユーザー/パスワード

The screenshot shows the MEDIAEDGE LEB Recorder2 web interface with the 'ユーザー名・パスワード変更' (Change Username/Password) form. The left sidebar is the same as in the previous screenshot. The main content area shows the '設定' (Settings) tab. The form has a title bar 'ユーザー名・パスワード変更' and a message '新しいユーザー名とパスワードを入力してください。' (Please enter a new username and password). It contains three input fields: '新ユーザー名' (New Username), '新パスワード' (New Password), and '新パスワード再入力' (Re-enter New Password). Below the fields are two lines of red text: '※ユーザー名・パスワード共に8文字以内' (Both username and password must be 8 characters or less) and '※アルファベット(A-Z,a-z)、数字(0-9)のみ使用可能' (Only alphanumeric characters are allowed). At the bottom are '設定' (Settings) and 'キャンセル' (Cancel) buttons.

項目	説明
ユーザー名・パス	ユーザー名・パスワードを変更します。変更を行う場合、ユーザー名とパスワード

ワード変更	を入力し、[設定]ボタンをクリックしてください。 ●新ユーザー名 新たに登録するユーザー名を入力します。 ●新パスワード 新たに登録するパスワードを入力します。 ●新パスワードの再入力 新たに登録するパスワードを再入力します。
設定ボタン	ユーザー名とパスワードの更新を行います。
キャンセルボタン	入力した設定値を元の値に戻し、ダッシュボード画面に戻ります。



設定終了後、自動的に MEDIAEDGE LEB Recorder2 を再起動します。

再起動完了後、ユーザー認証ダイアログが起動しますので、新たに設定したユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。

6、オープンソースソフトウェア一覧

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.603@2018-11-26-15-53

状態表示

設定

システム管理

コントロール

再起動/シャットダウン

工場出荷の設定に戻る

ファームウェア更新

設定とログのエクスポート

ユーザー/パスワード

オープンソースソフトウェア一覧

この製品は次のオープンソースソフトウェアを使用しています。

a real-time data compression library (Izo)

BusyBox

Das U-Boot

E2fsprogs

FreeType2

GNU FriBidi

IPA Font (written in Japanese)

iproute2+tc*

JFS Utilities

jQuery TinyTips Plugin

Memory Technology Device (MTD) Subsystem for Linux (mtd-utils)

memtester

NTP

OpenSSH

PSPacer

The Expat XML Parser (expat)

thttpd

VideoLAN Server (vls)

XSLT support for libxml2 (libxslt)

zlib

python 3.6.7

Boost C++ Libraries

D-Bus

dosfstools

ethtool

GNU C Library (glibc)

I2C Tools

ISC DHCP

iUI

jQuery

Linux Kernel

MT19937

NDisc6 : IPv6 diagnostic tools

Net-SNMP

OpenSSL

Portable SDK for UPnP Devices (libupnp)

Tokyo Cabinet

util-linux-ng

XML toolkit from the GNOME (libxml2)

Zip 3.0

hug

openRTSP

項目	説明
この製品は次のオープンソフトウェアを使用しています。	ソフトウェアの開発で使用したオープンソフトウェアの一覧を表示します。

■ II-7-8. コントロール

1、録画コントロール

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2
VER. 2.0.603@2018-11-26-15-53

状態表示

設定

システム管理

コントロール

録画コントロール

アップロード

ディスクの初期化

ストレージドライブ情報

録画

ドライブ	(Internal HDD)
ディスク容量	xxxxxx
使用容量	xxxxxx
空き容量	xxxxxx

録画状態

stopped

録画中ファイル名

xxxxxxx

録画開始

録画停止

項目	説明
ストレージドライブ 情報	ドライブ名/ディスク容量/使用容量/空き容量を表示します。
録画	<div>●録画状態 現在の状態(stopped/started)を表示します。</div> <div>●録画中ファイル名 状態が started の場合、録画中のファイル名を表示します。</div> <div>●録画開始ボタン 録画を開始します。</div> <div>●録画停止ボタン 録画を終了します。</div>

2、アップロード



項目	説明
アップロードファイル選択	ストレージに格納されている録画ファイルの一覧からアップロードするファイルを選択します。 ファイルは「Ctrl キー」「Shift キー」による複数選択が可能です。
ファイルの選択	アップロードするファイルのリストが表示されます。 「ファイル結合」に✓を入れると、リスト表示されたファイルが結合されてアップロードされます。「アップロード後削除」に✓を入れるとアップロードのあと、リスト表示されたファイルがストレージから削除されます。
ファイルの削除	削除したいファイルのリストが表示されます。 録画ファイル一覧から削除したいファイルを選択します。 ファイルは「Ctrl キー」「Shift キー」による複数選択が可能です。 「ファイルの削除」ボタンを押すと、表示されたファイルがストレージから削除されます。
アップロード	アップロード先 FTP/USB を選択します。 [アップロード開始]ボタンを押すとアップロードが開始されます。 アップロード実行中に[アップロード停止]ボタンを押すとアップロードが終了します。
USB ストレージドライブ情報	USB ストレージのディスク容量/使用容量/空容量を表示します。 [安全な取り外し]ボタンを押すと USB ストレージの接続を解除します。 USB ストレージを取り外す前に実行します。

3、ディスクの初期化

MEDIAEDGE

Mediaedge.co.jp

Language

MEDIAEDGE LEB Recorder2

VER. 2.0.003@2018-11-26-15:53

状態表示

設定

システム管理

コントロール

録画コントロール

アップロード

ディスクの初期化

ドライブ

ドライブ選択 Internal HDD

フォーマット

状態

結果

フォーマット

実行

ドライブチェック

状態

結果

ドライブチェック

実行

項目	説明
ドライブ	対象となるドライブ(Internal HDD/USB)を選択します。
フォーマット	<p>選択されたドライブをフォーマットします。</p> <p>●状態 現在の状態(stopped/running)を表示します。</p> <p>●結果 フォーマットが終了(状態が stopped)した場合の結果を成功(successful)または、失敗(failed)で表示します。また結果の説明を表示します。</p> <p>●フォーマット フォーマットを実行します。</p>
ドライブチェック	<p>選択されたドライブのチェックを行います。</p> <p>●状態 現在の状態(stopped/running)を表示します。</p> <p>●結果 ドライブチェックが終了(状態が stopped)した場合の結果を成功(successful)または失敗(failed)で表示します。また結果の説明を表示します。</p> <p>●ドライブチェック ドライブチェックを実行します。</p>

II-8. ファームウェアのアップデート

■ II-8-1. アップデート方法

➤ Web ブラウザによるアップデート

(1) MEDIAEDGE Recorder2 と接続する PC にファームウェア更新ファイルをコピーします。

例: leb_Recorder2.x.x.x.system (x.x.x はバージョン番号)

(2) Web ブラウザを使用し、MEDIAEDGE LEB Recorder2 の Web コンソールを起動します。

(3) [システム管理] > [ファームウェアの更新] を選び、ファイルを指定して更新を行います。

※ 現在より古いファームウェアに更新する場合は[バージョンチェックを行わない。]にチェックを付けてください。

(4) 更新完了後、MEDIAEDGE LEB Recorder2 は自動的に再起動します。



POWER LED が橙色点滅しているときはファームウェアを更新中です。

このときは MEDIAEDGE LEB Recorder2 の電源を切らないでください。

➤ USB によるアップデート

(1) U S B ドライブのルートフォルダに update.ctf (テキストファイル)、「ファームウェア更新ファイル」(leb_Recorder2.x.x.x.system)を入れます。update.ctf には

あらかじめテキストエディタ等で

* UPDATE leb_Recorder2.x.x.x.system (←実際のファームウェア更新ファイル名)
を記述しておきます。

(2) USB ドライブを MEDIAEDGE LEB Recorder2 の USB 端子に接続します。

(3) 現在より新しいファームウェアの場合はアップデートを行います。

(4) 更新完了後、MEDIAEDGE LEB Recorder2 は自動的に再起動します。

II-9. メンテナンスモード

➤ MEDIAEDGE LEB Recorder2 のメンテナンスモード

MEDIAEDGE LEB Recorder2 のメンテナンスモードは、ファームウェア更新に失敗し、MEDIAEDGE LEB Recorder2 が起動しなくなったような場合、もしくは[ユーザー名・パスワードの変更]画面で変更したユーザー名やパスワードを忘れてしまった場合の緊急復旧用プログラムです。ファームウェア更新ファイルは、Web ブラウザーによるアップデートや USB による自動更新で使用するファイルと同じものを使用します。

例): leb_Recorder2.x.x.x.system (x.x.x はバージョン番号)

➤ 機能概要

メンテナンスモードには以下の機能があります。

●USB ドライブ経由でのファームウェア更新

USB ドライブに格納されたファームウェアを更新します。

●ネットワーク経由でファームウェア更新

HTTP もしくは FTP プロトコルによりファームウェアをダウンロードして更新します。

●PING コマンド

MEDIAEDGE LEB Recorder2 から PING(ICMP エコーリクエスト)を送信します。

●ハードウェア情報表示機能

本体に記録されているハードウェア情報を表示します。

●ビルトインテスト機能

簡易的なハードウェア診断テストを行います。

●MEDIAEDGE LEB Recorder2 の再起動機能

MEDIAEDGE LEB Recorder2 を再起動します。

●工場出荷時の設定に戻す機能

DIP スイッチ SW1 を ON の状態でメンテナンスモードに入ると工場出荷時の設定に戻すことができます。



ネットワーク経由でのファームウェア更新機能、および PING コマンドを使用するには初回に MEDIAEDGE LEB Recorder2 の IP アドレスを設定する必要があります。設定は DHCP による自動設定、もしくはマニュアル設定で行います。

➤ 接続と設定

(ア) RS-232C ポートを備えるコンピューターと MEDIAEDGE LEB Recorder2 の COM(シリアル) ポートを接続します。

(イ) コンピューター上でターミナル通信ソフトを起動してください。

通信パラメーターは次の通りです；

ボーレート：115200bps

データビット長：8 ビット

ストップビット長：1

パリティ：なし

フロー制御：なし

➤ MEDIAEDGE LEB Recorder2 をメンテナンスモードで起動する。

電源が接続されている状態で、R E S E Tスイッチを3秒以上押してください。ターミナル通信ソフトの画面にメンテナンスモードのトップメニューが表示されます。

➤ メンテナンスモードの起動画面(トップメニュー画面)

MEDIAEDGE LEB Recorder2 のメンテナンスモードを起動すると以下のトップメニュー画面が表示されます。

```

+----- Maintenance mode TOP MENU -----+
| 1: IPv4 address setup                      |
| 2: Firmware update from a USB drive       |
| 3: Firmware download via HTTP/FTP         |
| 4: Ping (Sending ICMP echo requests)      |
| 5: Restore to factory settings            |
| 6: Display hardware info                  |
| 7: Built-in test                          |
| 0: Restart                               |
+-----+
Select Command ->

```

1: IPv4 address setup

MEDIAEDGE LEB Recorder2 の IP アドレス(DHCP または固定 IP)を設定します。



3、4の機能を使用する場合はまず、当設定を行ってください。

2: Firmware update from a USB drive

3: Firmware download via HTTP/FTP

HTTP/FTP サーバーに配置されているファームウェアをネットワーク経由でダウンロードし、更新します。

4: PING (Sending ICMP echo requests)

ネットワーク接続したコンピューターや他の MEDIAEDGE LEB Recorder2 に PING(ICMP エコ
リクエスト)を送信します。

5: Restore to factory settings

MEDIAEDGE LEB Recorder2 の設定を工場出荷時の設定に戻します。

6: Display hardware info

本体に記録されているハードウェア情報を表示します。

7: Built-in test

ビルトインテストを実行します。

0: Restart

MEDIAEDGE LEB Recorder2 を再起動します。

➤ IP アドレス設定画面

トップメニュー画面で[1: IPv4 address setup]を選択すると以下の画面が表示されます。

```
=== IPv4 address setup ===  
Current setting:  
Unknown IP address.  
1: Use DHCP  
2: Manual setup
```

1: Use DHCP

MEDIAEDGE LEB Recorder2 の IP アドレス設定を DHCP により自動で行います。

2: Manual setup

MEDIAEDGE LEB Recorder2 の IP アドレス設定をマニュアルで行います。

ENTER のみ入力するとトップメニュー画面へ戻ります。

正常に設定が完了した場合は IP アドレスを表示します。

➤ USB ドライブからファームウェア更新画面

トップメニュー画面で[2: Firmware update from a USB drive]を選択すると以下の画面が表示されます。

```
=== Firmware update from a USB drive ===
Enter firmware file name (* : list files) ->
```

USB 端子に USB ドライブ(USB メモリー、USB HDD 等)を接続後、ファームウェアファイル名を入力するとファームウェアの更新を開始します。

'*'を入力すると接続した USB ドライブ内のファイル一覧(拡張子.system のファイル)を表示します。

ENTER のみ入力するとトップメニュー画面へ戻ります。

➤ HTTP/FTP クライアント機能によるファームウェア更新画面

トップメニュー画面で[3: Firmware download via HTTP/FTP]を選択すると以下の画面が表示されます。

```
=== Firmware download via HTTP/FTP ===
Enter firmware URL (http://...or ftp://...) ->
```

HTTP/FTP サーバーからファームウェアをダウンロードするには URL 入力画面でファームウェアのパスを指定します。

例): FTP サーバー:mediaedge-svr

FTP でログインするフォルダ:C:¥temp¥ftpwork

ファームウェアの絶対パス:C:¥temp¥ftpwork¥firm¥leb_Recorder2.x.x.x.system

→入力する URL:ftp://mediaedge-svr/firm/leb_Recorder2.x.x.x.system

ダウンロードが完了するとファームウェアの更新を開始します。

ENTER のみ入力するとトップメニュー画面へ戻ります。

➤ Ping 画面

トップメニュー画面で[4: Ping (Sending ICMP echo requests)]を選択すると以下の画面が表示されます。MEDIAEDGE LEB Recorder2 から Ping(ICMP エコーリクエスト)パケットを送信し、ネットワークの状態を確認する機能です。

```
=== Ping (Sending ICMP echo requests)===
Enter a target IP address ->
```

ネットワークの状態を確認したい送信先の IP アドレスを入力してください。

ENTER のみ入力するとトップメニュー画面へ戻ります。

➤ 工場出荷設定に戻す画面

トップメニュー画面で[5: Restore to factory settings]を選択すると以下の画面が表示されます。

```
=== Restore to factory settings ===  
Are you sure? (y/[n]) ->
```

’y’を入力すると工場出荷時設定に戻します。

’n’もしくはENTERを入力するとトップメニュー画面へ戻ります。

➤ ハードウェア情報表示画面

トップメニュー画面で[6: Display hardware info]を選択すると以下の画面が表示されます。

```
=== Display hardware info ===  
Series Name : xxxx  
Product Name : LEB Recorder2  
MAC Address : C4:AD:21:xx:xx:xx
```

➤ ビルトインテスト画面

トップメニュー画面で[7: Built-in test]を選択すると簡易的なハードウェア診断テストを実行します。

```
=== Built-in test ===  
Memory : OK  
I2C communication : OK  
NIC Link : OK (1000Mbps/detected)  
LED : OK  
DIPSW : OK  
FAN : FAN1 : Working,  
FAN2 : Working  
[Press any key to abort]  
USB drive : OK (Media found)  
**** Built-in test PASSED ****
```

➤ MEDIAEDGE LEB Recorder2 の再起動画面

トップメニュー画面で[0: Restart]を選択すると以下の画面が表示され、MEDIAEDGE LEB Recorder2 を再起動します。

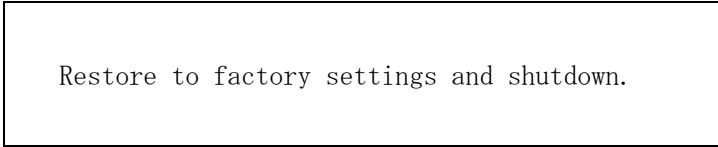
A rectangular box with a black border containing the text "Restarting..".

Restarting..

➤ DIP スイッチ SW1 による強制設定初期化

MEDIAEDGE LEB Recorder2 背面の DIP スイッチ SW1 を ON にした状態で、メンテナンスモードに移行すると以下の画面が表示され工場出荷時の設定に初期化し、MEDIAEDGE LEB Recorder2 の電源が切れます。

その後、SW1 を OFF に戻し、再度 MEDIAEDGE LEB Recorder2 の電源を入れなおしてください。

A rectangular box with a black border containing the text "Restore to factory settings and shutdown.".

Restore to factory settings and shutdown.

II-10. サポート情報

■ II-10-1. 制限事項

- 自動配信モードでユニキャストを選択した場合には、録画は同時に行えません。
- 録画中に複数のユニキャスト配信を行った場合には、録画が正しく行われない場合があります。
- 録画中に録画ファイルをファイル共有で読み出した場合に、録画が正しく行われない場合があります。
- 録画ディレクトリやファイル名に日本語は仕様できません。
- 英文字の大文字、小文字だけが異なるフォルダを作成した場合には、どちらか一方にしたアクセスできません。
- 録画ディレクトリやファイル名に Windows で使用できない文字をしようした場合に、ファイル共有でファイル名が異なる文字列で表示されることがあります (Windows の動作による制限)。
- ファイル共有で PC から LEB Recorder2 にファイルを書き込んだ場合の動作は保証されません。読み出しおよび削除のみで使用してください。
- ユーザが HDD を交換した場合にはシステムが起動できなくなります。
- ファイルの自動削除は録画中のフォルダにたいしてのみ行います。
ディスクフルになった状態で録画先フォルダを変更すると、自動削除モードになっていても録画に失敗します。
- 共有フォルダを開いた状態で HDD のフォーマットやチェックを実行すると失敗する。
- 録画中に共有フォルダからファイルを読み出したリコピーすると録画に失敗する。
➢ 録画が停止するのではなく、一部のデータが欠けた状態で記録される。
- 録画中に配信と FTP アップロードを同時に実行すると、録画や配信に失敗する。
➢ 録画が停止するのではなく、一部のデータが欠けた状態で記録される。
- 録画中のファイルを削除すると録画が強制的に停止し、その後一定期間録画開始できない。
- 正常に録画開始、停止しても録画ログにエラーが記録されることがある。
- フォルダ名などに Windows で使用できない文字を使用すると共有フォルダからアクセスした場合に異なる表記で表示される。
※Windows でファイル名やフォルダ名に使用できない文字 (¥ / : * ? " < > |)。
- USB ストレージで使えるのは FAT32 だけです。
4GByte を越えるファイルは使用できないので、USB を使用する場合には必ず 4GByte 以下になるように分割してください。

■ II-10-1. HDD の交換時期について、

1、1日 12 時間以下の録画運用の場合

予防交換 2 年

2、24 時間 365 日の録画運用の場合

ビットレート	予防交換時期目安
10Mbps 未満	2 年
10Mbps	1 年
12Mbps	10 ヶ月
14Mbps	8.5 ヶ月
16Mbps	7.5 ヶ月
18Mbps	6.6 ヶ月
20Mbps	6 ヶ月
20Mbps 超過	5 ヶ月

II-11. 仕様

■ II-11-1. ハードウェア仕様

対応製品	
サーバーソフトウェア	MEDIAEDGE-SVS4
デコーダー	MEDIAEDGE Decoder ※低遅延モードに対応しています。
PC ソフトウェア	MEDIAEDGE-SWT4 ※低遅延モードに対応していません。
ネットワークインターフェース	
形式	100Base-TX、1000Base-T Ethernet/IEEE802.3 フレーム形式に準拠 オートネゴシエーション対応 フルデュプレックス対応
端子	RJ45 モジュラコネクタ × 1
SDI 映像入力	
対応フォーマット	1920 × 1080/59.94i、 1280 × 720/59.94p、 720 × 480/59.94i、 1920 × 1080/50i、 1280 × 720/50p、 720 × 576/50i
形式	HD-SDI 10bit (SMPTE292M 準拠) SD-SDI 10bit (SMPTE259M-C 準拠) ※インターフェイスは 10bit に対応していますが映像信号精度は 8bit です。
端子	BNC × 2 (HD/SD-SDI 共用入力を 2 系統)
映像スルー出力	
形式	HD-SDI 10bit (SMPTE292M 準拠) SD-SDI 10bit (SMPTE259M-C 準拠)
端子	BNC × 1 (出力選択式、HD/SD-SDI 入力のアクティブスルー)
HDMI 映像入力	
対応フォーマット (通常遅延モード/ 低遅延モード)	1920 × 1080/59.94i、 1280 × 720/59.94p、 720 × 480/59.94i、 720 × 480/59.94p、 640 × 480/59.94p 1920 × 1080/50i、 1280 × 720/50p、 720 × 576/50i、 720 × 576/50p ※HDMI の 480p、576p および VGA は 720p に詰め込み合成されます。
HDCP	非対応
端子	HDMI コネクタ × 1
デジタル音声入力	
形式	ステレオ LPCM ※HDMI/SDI 信号に重畳
アナログ映像入力	

対応フォーマット	720×480/59.94i (NTSC) ※クローズド・キャプション非対応 720×576/50i (PAL)
端子	BNC (コンポジット)
負荷インピーダンス	75Ω
アナログ音声入力	
形式	ステレオライン入力 (アンバランス) ※ソース入力が SDI/HDMI の場合に、デジタルオーディオの代わりにオーディオソースとして選択することが可能です。 ※ソース入力がコンポジット入力の場合に、オーディオソースとして使用します。
端子	ピンジャック (ステレオ 1 系統)
最大入力レベル	2Vrms
入力インピーダンス	47kΩ
内蔵ストレージ	
HDD	2TByte (録画可能な容量は 1.6Tbyte 程度となります)
シリアルポート	
形式	RS-232C
端子	DSUB-9 ピン (オス) × 1
USB ポート	
形式	USB2.0 準拠 Host ポート
端子	USB タイプ A × 1 (バスパワー 500mA (Max))

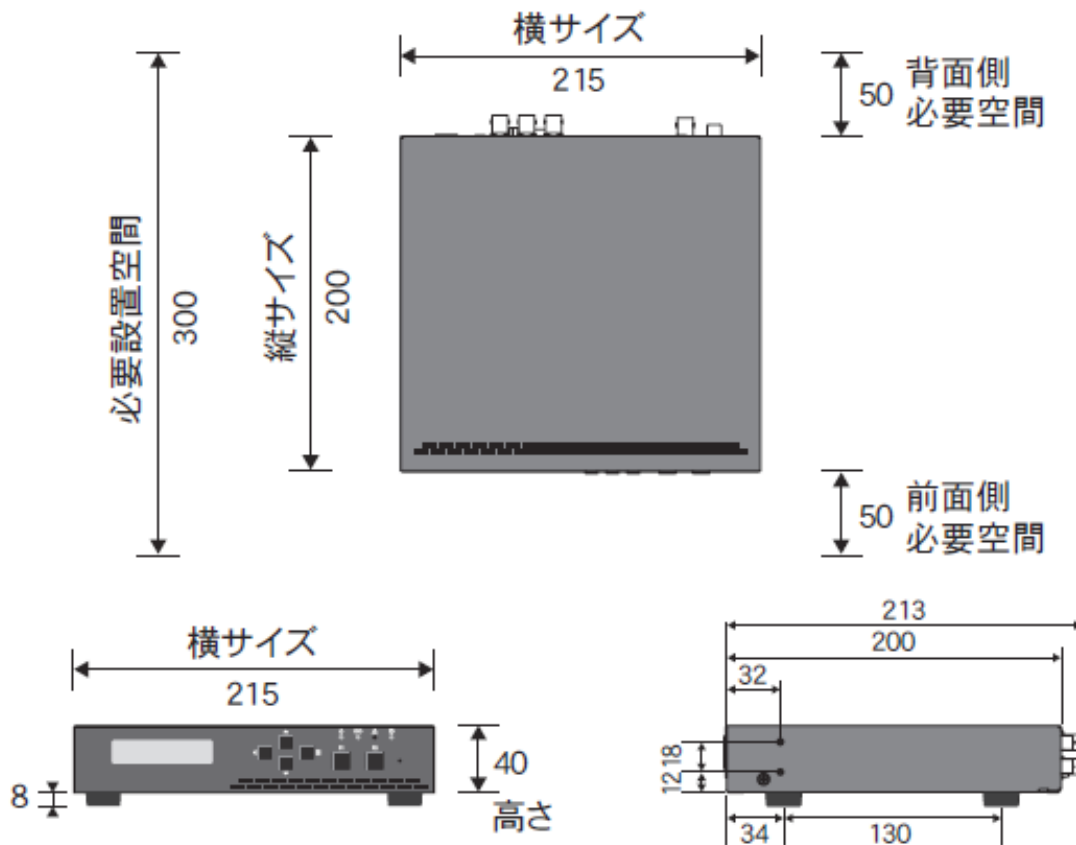
定格		
電源電圧	AC アダプター	入力: AC100V～240V (50Hz/60Hz) 出力: DC12V 3A (Max)
	本体	入力: DC12V 2.6A (Max) スタンバイモード: 0.2A
	最大消費電力	通常動作: 23W スタンバイモード: 3W
温度条件	動作温度範囲	5～40℃ ※結露なきこと
その他		
外形寸法	W215×D200×H40mm (端子、突起物、ゴム足含まず)	
質量	約 1.6kg (AC アダプターを除く)	

ストリーム形式	
映像符号化形式	ISO/IEC14496-10 (H.264/AVC) High Profile Level4.0 準拠
映像画素数	1920×1080/59.94i、1440×1080/59.94i、960×1080/59.94i 1280×720/59.94p、720×480/59.94i、 1920×1080/50i、1440×1080/50i、960×1080/50i

	1280 × 720/50p、720 × 576/50i	
映像ビットレート	1920 × 1080/59.94i、50i	6Mbps～24Mbps (High Profile Level4.0)
	1440 × 1080/59.94i、50i	5Mbps～24Mbps (High Profile Level4.0)
	960 × 1080/59.94i、50i	3Mbps～24Mbps (High Profile Level4.0)
	1280 × 720/59.94p、50p	4Mbps～24Mbps (High Profile Level4.0)
	720 × 480/59.94i	3Mbps～10Mbps (High Profile Level3.0)
	720 × 576/50i	3Mbps～10Mbps (High Profile Level3.0)
GOP 構造	IBBP (通常遅延モード)、PPPP (低遅延モード)	
音声符号化形式	MPEG-1 Audio layer2、 Dolby Digital (2ch) MPEG2/4-AAC 低遅延モードは MPEG1 Audio のみ対応	
オーディオ サンプリング周波数	48kHz	
音声ビットレート	MP2	32 (Mono)/64、96、128、192 (Stereo/Mono)/ 256、320、384kbps (Stereo)
	Dolby Digital	64、96 (Mono)/128、192 (Stereo/Mono)/ 256、320、384、448kbps (Stereo) ※AGC 機能は常に有効
	AAC	モノラルの場合 24～256 ステレオの場合 48～512
多重化	ISO/IEC 13818-1+Amd3 準拠 MPEG-2 トランスポートストリーム	

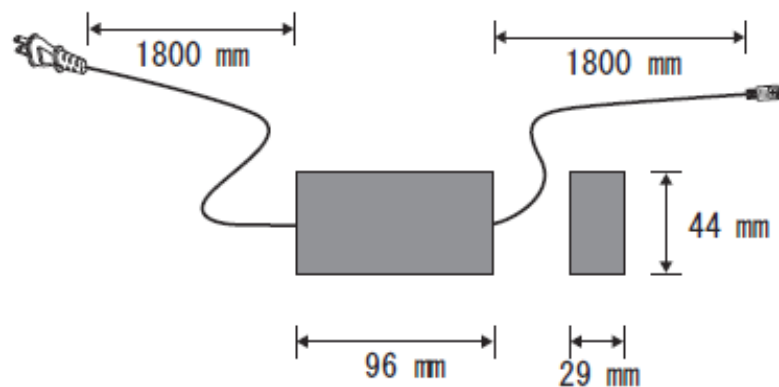
■ II-11-2. サイズと設置に必要な領域

(単位 mm)



※背面側必要空間は使用するケーブルにより異なります。

※本機は前面吸気、背面排気です。

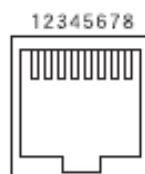


■ II-11-3. コネクタピン配列

➤ 100Base-TX/1000Base-T Ethernet (LAN)

RJ45

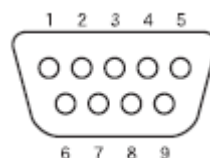
Pin#	Signal Name
1	TP0+
2	TP0-
3	TP1+
4	TP2+
5	TP2-
6	TP1-
7	TP3+
8	TP3-



➤ Serial Port

DSUB-9 male

Pin#	信号名
1	(open)
2	RD
3	TD
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTC
8	CTS
9	(open)

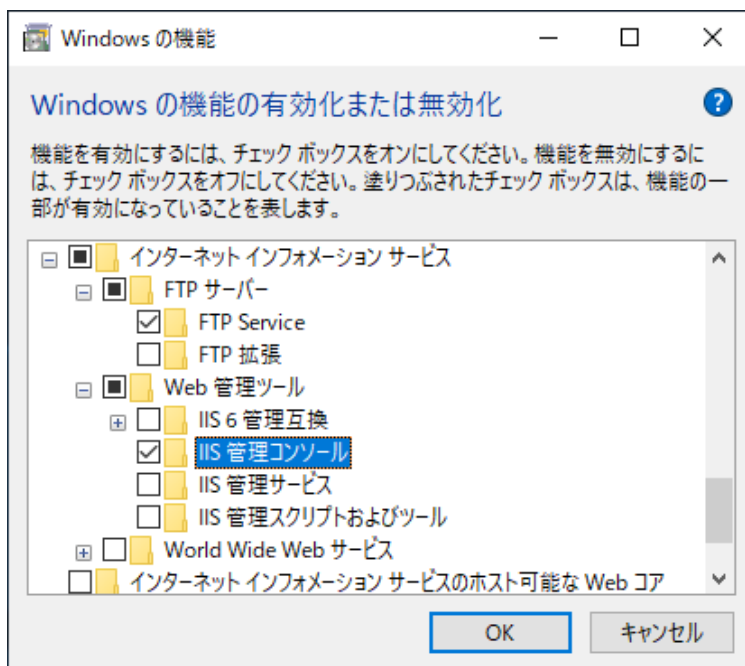


III. Appendix

■ III-1-1. Windows10 Pro の IIS で FTP サーバーをセットアップする方法

1、FTP 機能の有効化

「スタートボタン」－「Windows システムツール」－「コントロールパネル」－「プログラムと機能」－「Windows の機能の有効化または無効化」画面で図のように、インターネットインフォメーションサービスの「FTP Service」、「IIS 管理コンソール」にチェックを入れ「OK」ボタンを押します。



2、FTP 用のユーザー作成

「コントロールパネル」-「管理ツール」-「コンピュータの管理」-「ローカルユーザーとグループ」の「ユーザー」を右クリックし「新しいユーザー」を選択。FTP で使用するユーザーを作成します。
「ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要」のチェックを外し作成を押します。

新しいユーザー

ユーザー名(U):

フルネーム(F):

説明(D):

パスワード(P):

パスワードの確認入力(C):

☒ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要(M)

☐ ユーザーはパスワードを変更できない(S)

☐ パスワードを無期限にする(W)

☐ アカウントを無効にする(B)

ヘルプ(H) 作成(E) 閉じる(Q)

3、FTP サイトの作成

「コントロールパネル」-「管理ツール」-「コンピュータの管理」-「インターネット インフォメーション サービス(IIS)マネージャー」-「サイト」を右クリックし「FTP サイトの追加...」を選択します。

FTP サイトの追加

サイト情報

FTP サイト名(F):

コンテンツ ディレクトリ

物理パス(P):

前に戻る(B) 次へ(N) 終了(F) キャンセル

4、FTP サイト名は任意。物理パスは FTP 接続先のフォルダを指定します。

FTP サイトの追加

バインドと SSL の設定

バインド

IP アドレス(A): ポート(P):

☐ 仮想ホスト名を有効にする(E):
仮想ホスト (例: ftp.contoso.com)(H):

☒ FTP サイトを自動的に開始する(I)

SSL

☒ 無し(L)
☐ 許可(W)
☐ 必要(R)

SSL 証明書(C):

「認証」=[基本]にチェック

「承認」=[指定されたユーザー]を記述

「アクセス許可」=[読み取り]、[書き込み]にチェック

「終了」ボタン押します。

FTP サイトの追加

認証および承認の情報

認証

☐ 匿名(A)
☒ 基本(B)

承認

アクセスの許可(C):

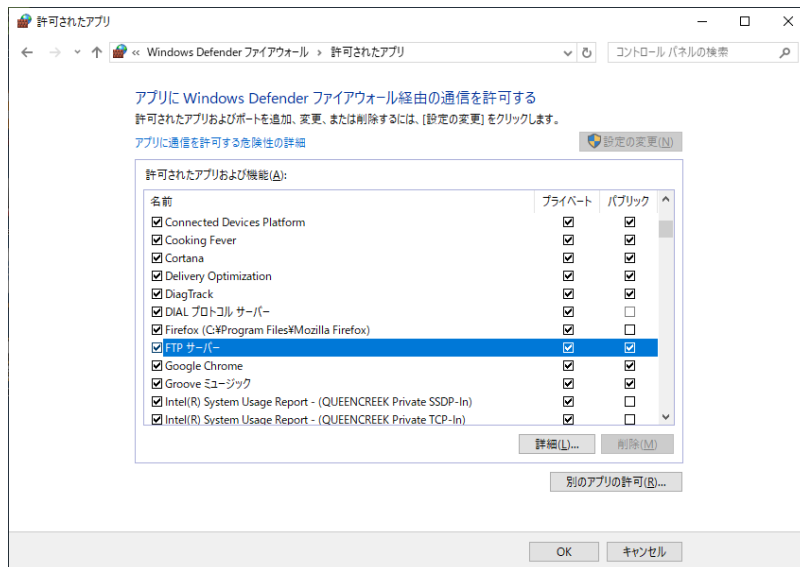
アクセス許可

☒ 読み取り(R)
☒ 書き込み(W)

5、ファイアウォール設定

「コントロールパネル」→「Windows Defender ファイアウォール」で「Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可」を選択。「設定の変更」ボタンを押します。

「FTP サーバー」、「プライベート」、「パブリック」にチェックを入れ「OK」ボタンを押します。



6、ディレクトリ共有設定

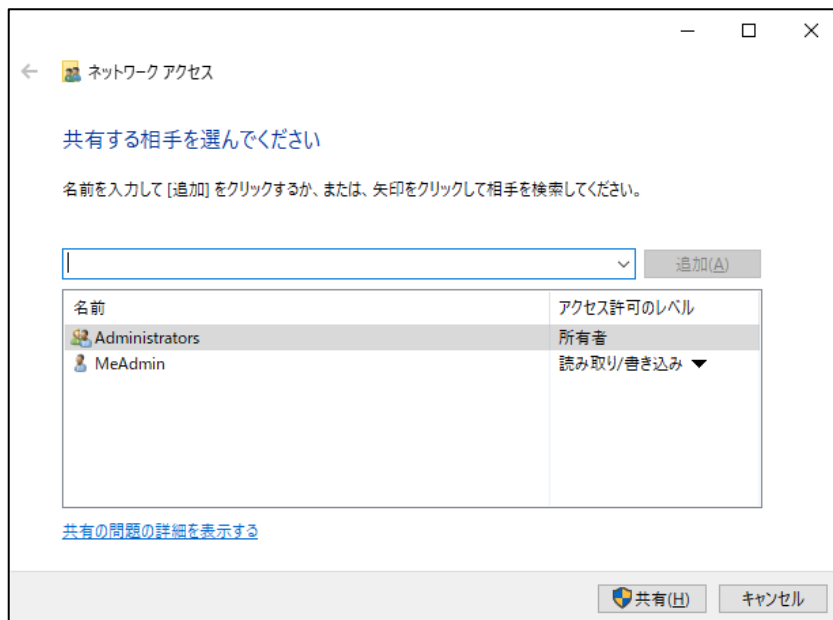
エクスプローラーを起動し、FTP で共有するディレクトリを選択します。

ディレクトリを選択状態で右クリックします。

「アクセスを許可する(G)」→「特定のユーザー...」を選択します。

共有するユーザー(上記で追加したユーザー)をプルダウンから選択し、「追加(A)」を押します。

アクセス許可のレベルを「読み取り／書き込み」に設定。「共有(H)」ボタンを押します。



以上で FTP サーバーの設定は完了です。

MEDIAEDGE

MEDIAEDGE LEB Recorder2
取扱説明書
2019.7 Ver1.3
Copyright © 2019 MEDIAEDGE Corporation
All rights reserved.

メディアエッジ株式会社

〒651-0083 神戸市中央区浜辺通5-1-14 23F
TEL:078-265-1551
www.mediaedge.co.jp